

Road to Success

追手門学院大 合格への最短距離

I' ve learned never to say 'Never'.

島村青児 *Shimamura Seiji*

大学受験業界でその名前を知らないものがない超一流講師。1999年度インターネットの全国予備校講師ランキング3位、関西英語講師ランキング1位。

河合塾をはじめとする大手予備校で英語を担当し、年間全ての講習会で300名の定員の講座を全て締め切るという快挙を達成した唯一の講師。多くの予備校講師がその講義、情熱、生き方に憧れ、共感する。

1999年、大手予備校を退職。大学受験の理想を目指し、自ら大学受験予備校Filioを設立。低偏差値から数多くの関関同立合格者を生み出し、私立専願者の合格率は大手予備校をはるかにしのぐ。教壇で受験生と対決するかたわら多数の出版物を世に送り出す。追手門学院大、関西大をはじめ多くの大学のオープンキャンパスを長年担当し受験生の熱い支持を受けている。更に、高校内部での受験指導、教員指導、高校再生プロジェクトもプロデュース。多くの高校で成功を収め、生徒の保護者や高校関係者からの信頼も厚い。

大手予備校をはるかに越える合格率！

現卒合計40名限定のホンモノの予備校

大学受験予備校 フィリオ

Commonsense for success

合格のための受験常識

① 正しい考え方で受験に挑戦しよう！

☞ 合格への最短距離の戦略は、まず正しい考え方を身につけることなんだ。追手門学院大の公募推薦試験の大部分の問題はマークセンス方式だから、マーク式の模試の結果が悪かった場合は凹むよねえ。『偏差値30台やった。追手門学院大の公募推薦狙ってんねんけど、全然あかんわ』『こんな低い偏差値やったら、今から頑張っても追手門学院大なんて全然無理やろなあ、志望校変えよっかなあ』なんて言っている受験生もいるんじゃないかな？でもね、心配しないでいいよ。大丈夫！今から始めても十分間に合うし、偏差値が低くても諦める必要なんてないんだ！

● 偏差値は追手門の一般試験の可否と無関係だ

☞ ハッキリ言っておくけど、偏差値なんて信じちゃダメ！マーク模試や共通テストの偏差値とある私立大学、例えば追手門学院大に合格できるかどうかとはほとんど関係がない。Filio（フィリオ）の生徒の一人は、5月や8月のマーク模試で英語の偏差値32、合格判定Eで追手門学院大の公募推薦に合格しているし、また別な生徒は8月の模試で偏差値40、E判定で追手門学院大の一般試験で心理学部に合格している。これは追手門学院大に限ったことではないし、私の予備校の生徒に限ったことでもない。誰にでもこれを今読んでいる君、君にも十分起こりうることなんだ。

でも、漫然と「何となく受験勉強」をしているだけでは幸運は訪れない。一発逆転！を可能にするには、まず受験や入試に対して正しい考え方を身につけることが大切だ。「間違った受験常識」にとらわれないようにして欲しい。

● 過去問は早い時期に解いてみる

☞ 志望校に合格するには、大学の傾向に関する情報は出来るだけ早い時期に手に入れるべき。そのためには、この様なオープンキャンパスの分析講座に耳を傾けると同時に、自分自身で過去の問題を解いてみる事が大切なんだ。自分で解いて、ある大学のある学部の問題が自分にとって難しいのか、あるいは簡単なのかを肌身で知ることが大切なんだよ。

何故赤本をやるのかを考えてみて欲しい。当然、その大学の傾向を知って、その傾向にあった学習を積み重ねるためだろ？現在の入試は、全くと言っていいほど各大学の問題傾向は異なり、出題される分野、配点なども異なっている。極論すれば、**各大学によって学習すべき英語の分野が異なる**のだから。

また、**自分の弱点を掘り起こすために赤本は利用**することができる。赤本を使って過去の問題をたくさん解いたからといって、それが実力の増強につながるとは言えない。基本的に、過去の問題は二度と出題されないんだから。極論すれば、追手門学院大で一度出題されたイディオムの問題は覚えなくてもいいって言える。じゃあ、早い時期に過去の問題をやってみるのは何のためだろうか？志望大学で出題されている問題をやってみて、その問題が解けないあるいは得点率が悪い場合、その対策を始めるためだよ。志望大学の問題の中に解けない問題がある場合、出来るだけ早期にその弱点を克服しなければならない。それには早い段階で1～2年分の過去の問題を解いてみて、自分の弱点を探り出すんだ。そして問題集などを使って、その弱点の分野の補強に努めるんだ！

● 現実を知ることが合格への第1歩

☞ 「過去問を早い時期からやるな」と言う教師や講師がいると聞くことがあるけれど、その発言の意図は、善意に解釈すれば、「今の実力で実際の問題に当たってみても自信をなくすだけだから、ある程度実力が付いた冬ぐらいにやってみる方がよい」との親心のつもりなんだろうね。その気持ちは分からなくはないけれど、それはただ受験生を甘やかしているにすぎないんだ。

受験生は今から登ろうとしている山の高さを知るべきだ。その高さを知った上で、その高さを克服するために努力するべきなんだ。5000m級の山には5000m級の山に必要な準備が、8000m級の山には更にもっと入念な準備が必要。準備不足は死に直結する。そして山が高ければ高いほど長期間に渡る入念な準備が必要であるのは言うまでもないよね。追手門学院大という山に登るには十分な準備期間と対策が必要なんだ。

また、「今の実力で実際の問題に当たってみても自信をなくすだけ」という教師や講師は、過保護の親に似ている。「社会の厳しさを知るのは社会人になってからでいいのよ。今はおうちで楽しく過ごしましょうね。」と子どもに言うようなものだ。過保護の親は、現実に適応できない子どもを生み出す。急に厳しい現実に直面した子どもは対処の仕方を知らず、立ちすくみ、オロオロし、挙げ句に逃げ出してしまう。

受験生はまず現実を知るべきなんだ。それは早い時期の方がよい。現実を知って挫折することもあるかもしれないけれど、必ずもう一度立ち上がれるはず。立ち上がって現実と対峙しなくてはいけない。もう一度立ち上がったとき、そこには二度目の対決のための様々な知恵と工夫があるはずだ。私は受験生の回復力を信じている。心の奥底に眠っている本当の力を信じたいといつも思う。赤本の問題をやってみるのに何をおそれる必要があるだろう？**来年合格するために、今、過去の問題を解くんだよ！**自分が不得意な分野を知るために、早い時期に問題を解いて弱点補強のメニューを組むんだ。自分自身を信じて、現実を知る勇気を持って欲しい。

～ 追手門学院大 合格への最短距離 Part I ～

公募推薦入試概要 **追手門学院大学**

● **試験時間45分（2科目で90分）**

*詳しくは入試ガイドで確認してください

公募推薦問題の出題内容と配点				
	2020年度 出題分野	問題数	配点	問題の偏差値レベル
[I]	中文読解問題	12問×3点	36点	48～51
[II]	問1 文法・語法問題	4問×3点	12点	50～56
	問2 正誤問題	4問×3点	12点	52～55
[III]	会話文整序問題	5問×4点	20点	52～54
[IV]	語句整序問題	5問×4点	20点	52～56
	大問4	小問30	100点	50.8～54.4

● 問題の偏差値レベルは講演者による判定

一般入試問題概要 **追手門学院大学**

● **試験時間60分（全てマーク式）**

一般入試問題の出題内容と配点（100点満点）			
	2020年 出題分野	問題数	配点
[I]	中文読解問題	7問×2点/4問×3点	26点
[II]	中文内容一致問題	6問×4点/2問×2点	28点
[III]	文法・語法問題	7問×2点	14点
[IV]	会話文整序問題	10問×2点	20点
[V]	語句整序問題	4問×3点	12点

問題の偏差値レベルは公募試験の問題と同じ

2021年度 公募・一般試験の概要

- ① 最も偏差値レベルの高い学部は心理（55～58）で、5学部の平均偏差値は50.2～52.6であった。

（2019年11月のベネッセ・駿台マーク模試のデータ）

- ② 上記①の「学部の平均偏差値」と上の表の「問題の偏差値レベル」と実質的な「解答時間（45分）」の3点から考えると、[I]の中文読解問題（36点）以外は、追手門の志願者の学力レベルに対してやや難しい問題と言える。追手門の受験生の想像以上に英語の問題は難しいのだ。

- ③ 上記②の内容はそのまま「一般試験」にも当てはまるが、一般試験で追加される[II]の「中文内容一致問題」と、[IV]の「会話整序問題」が1題追加されることを考えると、60分の解答時間は追手門の受験生にとって厳しい問題であろう。

- ④ 上記①～③に加えて、一昨年から続く私立大学の受験者の大幅な増大による難化傾向と、追手門への評価の高まりを併せて考えれば、追手門の入学試験に対してなんの正しい準備もせず徒手空拳で挑むのは、無謀と言わざるをえない。

問題レベルと合格のための目標得点

- 一般入学試験の各大問の目標得点は以下の通り

一般入試問題の出題内容と配点 (100点満点)					
	2020年 出題分野	問題数	配点	目標点	問題偏差値
[I]	中文読解	11問	26点	20点	48~51
[II]	中文内容一致	8問	28点	20点	51~52
[III]	文法・語法	7問	14点	10点	50~56
[IV]	会話文整序	10問	20点	12点	52~54
[V]	語句整序	4問	12点	8点	52~56

- 「問題難易度」 (偏差値レベル) と目標得点

- ① 大問[I] 中文読解問題 (48~51) 26点中 **20点** (76%)
- ② 大問[II] 内容一致問題 (51~52) 28点中 **20点** (71%)
- ③ 大問[III] 文法・語法問題 (50~56) 14点中 **10点** (71%)
- ④ 大問[III] 会話文整序問題 (52~54) 20点中 **12点** (60%)
- ⑤ 大問[IV] 語句整序問題 (52~56) 12点中 **6点** (50%)

目標点は70点

一般試験合格のための学習の優先順位

● 学習の優先順位を決める2つのポイント

① 配点が高い問題・分野

- | | | | | |
|---|-------------|-----|-------|--------|
| ① | [I] 中文読解問題 | 26点 | 【読解系】 | 読解 74点 |
| ② | [II] 内容一致問題 | 28点 | 【読解系】 | |
| ③ | [II] 会話整序問題 | 20点 | 【読解系】 | |

② 学習効果が現れやすい問題・分野

- | | | | |
|---|---------------|-----|----------|
| ① | [III] 文法・語法問題 | 14点 | 【文法・語法系】 |
| ② | [IV] 語句整序問題 | 12点 | 【文法・語法系】 |

● 公募推薦と比べると一般試験では大幅に読解系の配点が高くなっている（公募56点→一般74点）

- (1) 一般試験での合格を目指す場合、[I][II][IV]の読解系の問題（合計74点）を最低52点以上（70%）の得点がとれるように「読むためのトレーニング」を行うこと。
- (2) 読解系のトレーニングに集中するためにも12月末までに文法・語法系の問題[III][V]26点中最低でも18点が取れるようにしておくこと。
- (3) 読解系の中でも[IV]の会話文整序問題に時間をかけ満点を取れるようにすることが大切！

～追手門学院大 合格への最短距離 Part II・III～

● では、実際の問題をやってみよう。 *解答・解説はp17～

[II]問1 [II]問2 [IV]【出典】2019年11月19日

文法・語法系の実際の問題

[II] 問1 次の各文の空所（13）～（16）に入る最も適切なものを①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。【解答時間 15秒】

1. I told him I wanted a divorce, but he （13） .

- ① blinked hardly
- ② barely blinked
- ③ was reacted severe
- ④ was more reacting

[II] 問2 以下の英文には、それぞれ誤りが一か所ある。下線部(1)～(4)から一つ選べ。【解答時間 15秒】

1. It is (1)not good (2)for your health (3)to eat between (4)meal. （17）

[IV] 次の各文の意味内容に合うように、与えられた語①～⑤をすべて用いて英文を完成させた際に、空所（26）～（30）に入る最も適切なものをそれぞれ一つずつ選べ。ただし、文頭に来るものであっても小文字で表している。【解答時間 2分】

1. 法律に関する業務の確立が優先されてきた。

More (28)() () () () of legal services.

- ① been
- ② establishment
- ③ has
- ④ important
- ⑤ the

～ 追手門学院大 合格への最短距離 Part IV～

読解系の実際の問題①

[Ⅲ] 次の下線部 21 ～ 25 を補うのに最も適切な文を①～⑤の中から一つ選べ。 【解答時間5分】 【出典】2019年11月19日

Ken: Hi Celeste! Is that really you?
Celeste: 21
Ken: 22
Celeste: Not since high school.
Ken: 23
Celeste: 24
Ken: 25
Celeste: Not so good. I was studying business.

- ① I'm doing great. How long has it been?
- ② What have you been doing since then?
- ③ I just got back from a year abroad. I was studying in Japan.
- ④ Hey Ken! How are you?
- ⑤ How is your Japanese?

* 解答・解説はp34～

～ 追手門学院大 合格への最短距離 Part V～

読解系の実際の問題①

[I] 次の文章を読み、問いに答えよ。

【解答時間30分】

【出典】2015年11月6日

If your family is like many in the United States, unloading the week's groceries includes carrying a case or two of bottled water into your home. On your way to a soccer game or other activity, it's easy to grab a cold one right out of the fridge, right? But all those plastic bottles use a lot of fossil fuels and pollute the environment. In fact, Americans buy more bottled water than any other nation in the world, adding 29 billion water bottles a year to the problem. In order to make all these bottles, manufacturers use 17 million barrels of crude oil. That's enough oil to keep a million cars (1) for twelve months. (2) a water bottle filled a quarter of the way up with oil. That's about how much oil was needed to produce the bottle.

So why don't more people drink water straight from the kitchen faucet? Some people drink bottled water because they think (3)it is better for them than water out of the tap, but that's not true. In the United States, local governments make sure water from the faucet is safe. There is also growing concern that chemicals in the bottles themselves may leach(注1) into the water.

People love the convenience of bottled water. But maybe if they realized the problems it causes, they would try drinking from a glass at home or carrying water in a (4) steel container instead of plastic.

Plastic bottle recycling can help—instead of going out with the trash, plastic bottles can be (5) into items like carpeting or cozy fleece clothing. Unfortunately, for every six water bottles we use, only one makes it to the recycling bin. (6)The rest are sent to landfills(注2). Or, even worse, they end up as trash on the land and in rivers, lakes, and the ocean. Plastic bottles take many hundreds of years to disintegrate(注3).

Water is good for you, so keep drinking (7)it. But think about how often you use water bottles, and see if you can make a change. And yes, you can make a (8). Remember this: Recycling one plastic bottle can save enough energy to power a 60-watt light bulb for six hours.

注1 : leach 染み出る

注2 : landfill 埋立地

注3 : disintegrate 分離する *解答・解説はp17~

問1 空所 (1) を満たすものをして最も適切なものを①~④の中から一つ選べ.

- ① at the gas station
- ② halting
- ③ in the garage
- ④ going

問2 空所 (2) を満たすものをして最も適切なものを①~④の中から一つ選べ.

- ① Grab
- ② Buy
- ③ Imagine
- ④ Raise

問3 下線部 (3) の指示する内容として最も適切なものを①~④の中から一つ選べ.

- ① a kitchen faucet
- ② bottled water
- ③ water out of the top
- ④ a local government

問4 空所 (4) を満たすものをして最も適切なものを①~④の中から一つ選べ.

- ① decomposable
- ② edible
- ③ inflatable
- ④ refillable

問5 空所（ 5 ）を満たすものをして最も適切なものを①～④の中から一つ選べ.

- ① cut
- ② melted
- ③ turned
- ④ sliced

問6 下線部（6）の内容として最も適切なものを①～④の中から一つ選べ.

- ① one-sixth of used water containers
- ② one-half of recycling bins
- ③ two-thirds of landfills
- ④ five-sixths of used water bottles

問7 下線部（7）の内容として最も適切なものを①～④の中から一つ選べ.

- ① bottled water
- ② river water
- ③ water
- ④ water from the faucet

問8 空所（ 8 ）を満たすものをして最も適切なものを①～④の中から一つ選べ.

- ① bottle
- ② container
- ③ difference
- ④ landfill

問9 本文の表題として最も適切なものを①～④の中から一つ選べ.

- ① Bottled water: Major Healthcare Improvement
- ② How to Make Plastic Bottles from Crude Oil
- ③ Keep Drinking Bottled Water for Your Health
- ④ Drink Water from the Top

問10 本文の内容と一致するものを①～⑦の中から三つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

- ① Many American families go to grocery store twice a month.
- ② Americans are the biggest consumers of bottled water.
- ③ A plastic bottle needs a quarter barrel of oil to make.
- ④ Bottled water is safer than water from the tap.
- ⑤ Local governments are trying their best to supply Americans with clean water.
- ⑥ Most plastic bottles are recycled.
- ⑦ It takes centuries for plastic bottles to disintegrate naturally.

【Ⅱ】 問1の解答・解説

1. I told him I wanted a divorce, but he () .
- ① blinked hardly
 - ② barely blinked
 - ③ was reacted severe
 - ④ was more reacting

【正解】 ② barely blinked

【訳例】 私は彼に離婚したいと言ったが、彼はかろうじて瞬きをしたただけだった。

【Point in Check】

- ①のhardly 「ほとんど～ない」は【程度の副詞】で、一般動詞の直前に置かれる。he hardly blinked.なら意味はともかく、文法・語法的には正しい語順となる。
- ②のbarely 「かろうじて」も【程度の副詞】で、一般動詞の直前に置かれる。これが正解。
- ③はhe was reacted severe.という文?になるが、あり得ない語順。というのは、was reacted というbe + p.p.は【受動態】であるが、reactは自動詞 (react to 名詞「名詞に対して反応する」) であるため、【受動態】を作ることはできないからである。
- ④はhe was more reacting という文?になるが、これもあり得ない語順である。というのは、more reactingの語順は reacting が【形容詞】であることを示しているが reacting という形容詞はない。動詞の～ingが完全な形容詞となるのは exciting や surprising のように、元になっている動詞 (excite や surprise) が「○○させる」の意味を持つ【他動詞】のing形の場合である。先述のようにreactは【自動詞】である。

☞ ③④を×にするためには【動詞の語法】の知識が大切！

YouTubeの「島村のBasic英語」視てくださいーい！！

☞ 文中での副詞の位置は参考書『英文法・語法Eearnestアーネスト』【文英堂】に詳しい。是非購入して(笑)、参考にしてください。

〔Ⅱ〕問1の過去の類題

(1) I'm glad to see you. Please ().

1. be seated 2. have seated 3. seat 4. to seat

【正解】1. be seated

【訳例】あなたに会えて嬉しいです。どうぞお掛け下さい。

【Point in Check】似た動詞の他動詞・自動詞の用法の区別

- seat は「～を座らせる」の意味の【他動詞】で、必ずその後ろに目的語である名詞を必要とする。sit「座る」【自動詞】との区別を正確に。また「○○させる」の意味の他動詞を be + p.pの[受動態]、あるいは他動詞+oneselfにすると、「○○させられる」ではなく、「○○する」の自動詞的な日本語になる点にも注意。
- 似た単語の【自動詞】【他動詞】の区別で頻出するのは次の2つ。
wait for A「Aを待つ」【自動詞】 - await A「Aを待つ」【他動詞】
live in A「Aに住む」【自動詞】 - inhabit A「Aに住む」【他動詞】

Check! 他動詞・自動詞の基本原理の確認

- ① 目的語を必要とする動詞が「他動詞」、目的語を必要としない動詞が「自動詞」
- ② 「他動詞」と「前置詞」には「目的語」が必要であり、目的語を省略することはできない。
- ③ 目的語が後ろに見あたらない場合、「何らかの理由で前に移動している」と考える。その移動の理由は以下の7パターンに大別される。
 - (1) 受動態
 - (2) 関係代名詞・目的格
 - (3) 不定詞・形容詞用法・目的
 - (4) too ~ to…の構文、enough to …の構文
 - (5) tough構文-不定詞 need ~ing、be worth ~ing
 - (6) tough構文-動名詞 (need ~ing、be worth ~ing)
 - (7) OSV (単に目的語が前へ移動している)

[Ⅱ] 問2の解答・解説

1. It is (1)not good (2)for your health (3)to eat between (4)meal.

【正解】 (4)meal

【訳例】 間食をするのは健康に良くない。

【Point in Check】

- 「食事」を表す名詞のうちmealだけが【可算名詞】なので、復習形の meals が正しい表現. breakfast / lunch / dinner などは原則不可算名詞扱い.
- eat between meals 「間食をする」
- eatは他動詞・自動詞の両方で使える. 目的語をとらない自動詞の場合のeatは「(食事を)食べる」. この自動詞の用法は、自動詞のread「読書する」/ write「(手紙を)書く」と同じ.
- この問題のIt is は形式主語
- It is の4つの可能性
It is は以下の4つのうちのどれかを考える.
 - (1) 前の文の名詞や文の一部を受ける【代名詞のit】
 - (2) 時間・天候・距離・明暗・寒暖・状況などを表す【非人称のit】
 - (3) It is ~that (who / which) . . . の【強調構文のit】
 - (4) It is ~の【形式主語のit】 (動詞はis 以外も可能)
- 主語のItは、後にくる不定詞・動名詞・that節・wh節 (that節以外の名詞節) 【真主語】の代用として用いられた形式主語. 整序問題ではしばしば、形式主語が不定詞だけでなく他の名詞のカタマリを指す場合もよく出題される.
- 追手門学院では[Ⅱ]と[Ⅳ]で過去に何度か形式主語の出題がみられるので、次のページに形式主語に対する「真主語」のパターンをあげておく.

○ 形式主語に対する真主語

- ① It is important to study English. 【to不定詞】
- ② It is important studying English. 【動名詞】
- ③ It is important for you to study English. 【意味上の主語+to不定詞】
- ④ It is important your studying English. 【意味上の主語+動名詞】
- ⑤ It is important that you study English. 【従位接that SV】
- ⑥ It is important whether you study English (or not). 【従位接whether SV】
- ⑦ It is important when [where/how/why] you study English. 【間接疑問文】
- ⑧ It is important who studies English. (その他の疑問詞節) 【間接疑問文】

○ 英語の名詞は大きく分けて4種類あるが、形式主語itが受ける真主語の名詞は上記①～⑧のように【一般名詞】以外の全ての名詞である。

○ 「名詞の種類」の詳しい解説はYouTubeの「シマムラのBasic英語」を視聴してみてください！（自己宣伝ばっかですいません）

〔Ⅱ〕 問2の過去の類題

(1) Critics argue that cutting taxes will not necessarily result in increase consumer spending.
 (1) (2) (3) (4)

【正解】 (4) increase

【Point in Check】 動詞と名詞が同形の場合の区別

● increasing とするか increase in とするか

☞ 頑張った分得点を伸ばせるのは文法・語法系の問題だ。そのことはちょっと考えればすぐに納得できるはずだ。例えば、ほとんどの受験生が模擬試験を受けた経験があるだろう。文法・語法問題や会話表現の問題で自信を持ってすぐに解けた問題はどんな問題だった？そう！それまでに似た問題を解いたことがある問題だったはずだ。

☞ その理由は、受験生が思っているよりも入試問題で出題できる文法・語法、会話表現の範囲が狭いからなんだ。だからどうしても学校や塾、予備校の授業でやったことのある問題、問題集で見たことのある問題が模試や入試本番で出題されることになる。

☞ 長文読解問題で「この英文やったことがある。設問も授業でやったのと同じ！」なんてことが起きたらそれは神様に感謝だけれど、そんなことはまずあり得ない。文法・語法の問題は基本さえマスターしてしまえば、あとは質より量のトレーニングだ。やったことがある問題、見たことがある問題を増やしていくことが大切なんだ。つまり、文法・語法問題は「頑張ったら頑張った分だけ得点アップが期待できる」分野だということになる。

● [Ⅱ]の問1と問2の分析

[Ⅱ]の問1と問2の頻出分野・単元

- ☞ 目標解答時間 [Ⅱ]合計8題×15秒=2分
- ☞ 語法59%、文法41%の配分。
- ☞ 語法分野は「動詞」が約80%、次いで「名詞」の出題が多い。
- ☞ 文法はやや「準動詞」の出題が多く、次いで「関係詞・疑問詞」「接続詞」の順に出題が多い。

● [Ⅱ]と類似の形式・レベルの問題の出題がある大学。

- [Ⅱ]の問1 空所補充形式の文法・語法問題
 - ☞ 近畿大学 / 京都産業大学
- [Ⅱ]の問2 正誤形式の文法・語法問題
 - ☞ 京都外国語大学 / 立命館大学 (2009年まで)

● まず夏休みの終わりまでに[Ⅱ]と[Ⅳ]で、44点中、最低でも22点(50%)以上、できれば60%以上得点できるようにトレーニングをすること！

[IV] の解答・解説

1. 法律に関する業務の確立が優先されてきた。

More (28) () () () () of legal services.

- ① been
- ② establishment
- ③ has
- ④ important
- ⑤ the

【正解】 ④ important

【並べ替えた英文】

More important has been the establishment of legal services.

☞ The establishment of legal services has been more important. の倒置形

語句整序問題の解き方のポイントと手順

- ① 日本語の文構造に固執しすぎない。追手門の語句整序問題では特に日本語の構造と英文の構造が大きく異なるように意図的に作成されている問題が多い。簡単な具体例をあげておく。

「ハワイに行く人たちが多い」

という日本語の構造を見れば、主語は「人たち」で、述部（動詞を含む）は「～は多い」で、この日本語の構造をそのまま英語に置き換えれば People are many. となる。ところが実際には

Many people go to Hawaii.

が解答になる。（many のような「数量形容詞」を1単語だけで補語の位置に置くことはできないのが文法のルール）

- ② 中心の動詞を決め、動詞のとれる文型から動詞の後ろの品詞・単語の順番をイメージしておく。
- ③ 選択肢同士、あるいは前後に与えられている語句と選択肢のパーツの「小さなセットを作る。

【Point in Check】

● 上記の過去問の解き方の手順

① 日本文の構造に固執しない

結果論的になるが、与えられている日本語

「法律に関する業務の確立が優先されてきた」と実際の解答

More important has been the establishment of legal services.

の構造が大きく違うことに注意.

② 中心の動詞を決める

(1)動詞は選択肢のhasとbeenがセット. be動詞は【自動詞】で、第1文型 S+ be. 「S がある、いる」と、第2文型S+ be + C. 「S はC.である、S はC.です」の2つの語順しかとれない.

(2)さらに、be動詞を第1 S+ be. 「S がある、いる」で用いる場合、be動詞の後ろに「場所を表す副詞」が必要. 例えば、We are. 「私達はいます」は不自然で、We are here / in the room. 「私達はここに/部屋の中にいます」のようにしなくてはいけない.

(3)この問題の選択肢にも、それ以外にも「場所の副詞」はないので、英文全体は第2文型だと決定される. つまりS+be+C.の語順がイメージできる. 補語Cになれるのは「名詞」か「形容詞」である.

③ 小さなセットを作る

(1)選択肢のhasとbeenがセット.になるのは言うまでもない.

(2)文の最後にあたえられている of legal services.部分は、
[名詞] of legal services.が予想され、これに合う語順は

① the establishment of legal services.

② the important establishment of legal services.

のどちらかということになる. すると、

① More (28)() () the establishment of legal services.

② More (28)() the important establishment of legal services.

(3) 上記②ではMore (has)(been) the important establishment～.
これではMoreが単独で存在することになり、意味的にも不明.

上記①の場合はMore が important とセットになって「より重要(な)」の比較級表現で、日本文にある「(～よりも)優先」＝「(～よりも)重要(な)」と合致する.

More (important)(has)(been) the establishment of legal services.

(4) 追手門では整序問題で倒置構造に関する出題が多い。

上記過去問も、「Soやmoreのついた形容詞が強調のために文頭に出ると、S+V がV+Sの倒置構造になる」という文法のルールに基づいた出題。

More important has been the establishment of legal services.

☞ The establishment of legal services has been more important.の倒置形

[IV] の過去の類題

3. もしあなたが20歳、もしくはそれ以上であれば、すべての公的選挙に投票する資格がある。 【出典】2015年11月6日

If you are 20 or older, you () () () (28) () all public elections.

- ① are
- ② entitled
- ③ in
- ④ to
- ⑤ vote

【解答】⑤ vote

【並べ替えた英文】

you (are) (entitled) (to) (vote) (in) all public elections.

① 英語と日本語の構造のズレ

結果的に、この問題では「～する資格がある」の日本語と英語表現の間にズレはない。しかし、日本語なしでも解ける場合が多い！

② 中心の動詞を決める

(1)主語のyouに対して動詞はare しかない。

(2)「場所を表す副詞」がないのでS+ be + C.の語順が決定される。

(3)この問題の選択肢には補語になるべき名詞は見あたらない。

(voteの意味が分からず、voteを名詞だと考えた人は、the vote あるいは a vote になっていない点で???と考えるべき)

(4)S+ be + 形容詞.の語順がイメージできれば、you are entitled の語順が決定できる。

③ 小さなセットを作る

(1) in は前置詞で、その後ろに名詞を必要とするため
in all public elections.のセットを作ることができる.

(2) toは前置詞 to 名詞と、不定詞 to do の2つの可能性が考えられる
が、前置詞だと名詞が足りなくなってしまうので、不定詞 to do
に決定できて to voteのセットが作れる.

● 以上のプロセスから

you are entitled ()(28) in all public elections.

you are entitled to vote in all public elections.となる.

[IV] 語句整序問題の分析

[IV] の問1と問2の頻出分野・単元

- ☞ 目標解答時間 [II]合計5題×2分=10分
- ☞ 動詞の語法・文型から「日本語なし」で解ける問題も多い.
- ☞ 空所の前後の英文の情報を活用すること
- ☞ 出題される構文は「倒置構造」が多い. おそらく、これは問題が「日本語と英語構造のズレ」をポイントにしているため.
- ☞ 英文の文型は第2文型が多く、次いで第5文型.
- ☞ 全体としての英文の構造は難しいものもあるが、空所が1つなので偶然の正解もけっこうあるかも. これが問題の偏差値レベルに対して目標点を80%に設定している理由の1つ.

● [II]と類似の形式・レベルの問題の出題がある大学.

☞ 龍谷大学 / 近畿大学 / 立命館大学 (2009年まで)

語句整序問題は‘何を’並べ替えるのか？

● 追大の英語問題の中で、IV番で出題される「**語句整序問題**」はやや時間効率が悪い。というのは、語法中心の、知っていれば10秒もかからず解ける「**文法・語法問題**」よりも、時間も2～3分以上は必要で、最後までやってみなければ解けるかどうか分からないからだ。

しかし、文法系の問題の中で「**語句整序問題**」が受験生の実力の差が最も出やすい問題であり、ここでどれだけ得点できるかが文法系の問題で合否の分かれ目なのである。それ故「**語句整序問題**」のトレーニングは欠くことはできない。では、出題のポイントはどこだろうか？

「**語句整序問題**」は「**文法・語法**」あるいは「**構文**」の分野に属する問題である。そもそも、I have a pen.などという簡単な英文を問題にはしない。問題になる英文とはどのような英文なのであろうか？当然、その文章の中に、「**文法・語法**」、「**構文**」のポイントが入っている英文である。結局のところ、「**語句整序問題**」は**文法・語法**、**構文**の問題なのである。その意味で、「**語句整序問題**」のトレーニングと称して、**語句整序問題集**に手を出すのはあまり賢明とは言えない。

「**語句整序問題**」の弱い受験生は、**文法・語法**や**構文**、あるいは**イディオム**の知識が弱いのである。「**語句整序問題**」に強くなるには、**まず文法・語法**や**構文の問題集**で**基礎力の養成**に努めることが大切である。

語句整序問題の解法テクニック3

● 整序問題を早く正確に解くためには、基礎知識が必要であるのは言うまでもありません。しかし何事にもうまくやる「コツ」というものがあるのです。ここでは整序問題を無駄なく解くための基本的な3つのテクニックを挙げておきますから、参考にして下さい。

Technique ① 小さなセットを作る

● 整序問題では、英語の決まりに従って、語と語のつながりに着目して小さなセットを作ってゆくことを意識的に行うとよい。例えば、選択肢が [I / book / the / buy / must] となっている場合、助動詞と動詞の原形がセットになり「must buy」がまず決まる。また主格のIは常に主語として用いるので後に動詞が来て「I must buy」のセット。また冠詞のtheは後に名詞が必ず来るので「the book」のセットと作っていき、最後に「I must buy the book」と英文全体を完成させるといった手法である。

【例題】動物や植物は砂漠の中で生き抜いていくためには、非常に少ない水で生きていくことができなくてはならない。

Plants and animals [be able to / get along with / must / to exist in / very little water] the desert.

【解答】 Plants and animals must be able to get along with very little water to exist in the desert.

【解説】このような問題の場合、小さなセットを積極的に作ると楽に解けてしまう。まずmustやbe able toは助動詞なので後に原形がくる（小さなセット6：助動詞＋原形のセット）。これを両方満たすにはmust be able to get along withとするしかない。またget along withのwithやto exist inのinはいずれも前置詞なので後に名詞が来ることが想定される（小さなセット4：前置詞＋名詞のセット）。名詞はvery little waterと欄外のthe desertがあるが、to existは不定詞なのでこの場合当然後で働くことがわかり、must be able to get along with very little water to exist in the desertと文脈を考えずに正解が導ける。

Technique ② 意味的前後関係に注意

● 整序問題では、並べ替える前後に英文が残っている場合が多い。その前後の部分の内容を理解しておく、と、並べ替えを行うときに大きな助けとなる。また内容を理解しておかねば並べ替えができない整序問題も過去に何度か出題されている。整序部分だけを考えるのではなく、前後の文脈を考えて、意味的にアプローチすることも積極的に行うようにしよう。

【例題】我々はこちらに来る途中タイヤがパンクした。しかしたまたま通りかかったトラックの運転手がタイヤを交換するのを手伝ってくれた。

We had a flat tire on the way here, but a truck driver [be passing us / change / helped / just happened to / who] it.

【解答】 We had a flat tire on the way here, but a truck driver **who just happened to be passing us helped change** it.

【解説】

まず前半文で「我々がここにくる途中でパンクした。しかしトラックの運転手が～」という設定を確認した上で、butの後を眺めてみると、but以下の主語はa truck driver（トラックの運転手）で最後のitはa flat tire（パンクしたタイヤ）を指すので、おそらく「しかしトラックの運転手がタイヤを交換してくれた」というイメージがわくだろう。さらにchangeは原形動詞なので、just happened to changeとなりそうであるが、ここで動詞helpの語法で、help 原形～（～するのを手伝う）を思いつくかどうか勝負である。それさえ思いつけばa truck driver helped change it.（トラックの運転手がタイヤを交換するのを手伝ってくれた）という主文ができる。後はtoと動詞の原形のセット（小さなセット7）を考え、just happened to be passing usのセットを作る。後は関係代名詞のwhoが先行詞に人である「a truck driver」となることに着目し（→戦略4参照）解答は容易に導き出せるであろう。

Technique ① and やor の並列関係に注意

● 等位接続詞のandやorは、2つのものを同じ形、同じ働きで並べることができる。整序問題でもこのことを知っている、前後の形から並べ替えるべき箇所のカタチが見えてくる場合がある。問題の中にandやorが見えたときはこのテクニックを使ってみよう。

【例題】あなたの犬は4匹の子犬を産み、あなたは子犬を飼ってくれる家を見つけなければならない。友達に電話して次のように言う。「僕の犬が4匹子犬を産んだんだ。一匹飼うことに興味ないかい。もしくは興味ありそうな人をだれか知っているかい」

Your dog has had four puppies and you have to find a home for them. You call up a friend and say, "My dog's had four puppies. Would you be interested in [do you know / having one / of anyone / or / who might be]?"

【解答】 Your dog has had four puppies and you have to find a home for them. You call up a friend and say, "My dog's had four puppies. Would you be interested in **having one or do you know of anyone who might be?**"

【解説】

ここも先ほどのテクニック2を意識して、「子犬が生まれ引き取り手を探している」という設定をしっかりと頭に入れておこう。ただしここは選択肢のorがあるのでそれに着目することが重要だ。orやandは同じカタチの物を並べる働きがある。今回は前文が疑問文であることに着目してorの後も疑問文、すなわちor do you know...?となることが分かる。who might beも疑問文になり得るが、疑問詞whoが先行すると後が続かないことから、このwhoはanyoneを先行詞とする関係代名詞として用いることに気づくと全体が完成できるだろう。

- ・前置詞+ingセット（テクニック1参照）でin having oneとなる。
- ・anyone who might beは省略で、省略を補うとanyone who might be (interested in having one)ということになる。

文法・語法系問題のトレーニング

学習の優先順位は本番で問題を解いていく時にも当てはまる。つまり、解く順番は 文法・語法系の問題の[Ⅱ]問1・問2と語句整序問題[Ⅳ]、次に読解系の問題の[Ⅲ]会話型文整序問題と[Ⅳ]中文読解問題がbestだ。

時間配分も[Ⅱ]と[Ⅳ]で約10~12分、残り33分~35分で[Ⅲ]と[Ⅰ]というのが基本だ。[Ⅰ]から解き始めたりして、この順番を逆にするのは良くない！ただし、[Ⅱ]や[Ⅳ]にはやや難しい設問も含まれているから、時間を使いすぎないように注意して欲しい。

文法・語法系問題の学習の進め方

- (1)出題分野・傾向を知る
- (2)学習すべき優先順位・重点分野を決定
- ☞ (3)問題集・参考書を使った重点分野の実力養成
- ☞ (4)実際の問題を解いて学力のチェック
- ☞ (5)不十分な分野の補強

● 学習プロセス(3) 重点分野の実力養成

問題集を利用して英文法・語法のトレーニングは出来たかな？少なくとも2冊は問題集はやった方がいいよ。出来た？頑張ったね！OKだ！もし万が一、まだやっていないっていう受験生がいたら、今からでも遅くないから、すぐに取りかかるんだ！人より遅れているんだから、当然時間がない。でも絶対間に合う、間に合わせるんだ！睡眠時間を削ってでもやらなくっちゃいけない。

● 学習プロセス(4) 赤本などで学力のチェック

英文法・語法の問題集を終わらせた人は、10月中に実際の入試問題を使って、現時点での実力をチェックしよう。過去問題集、いわゆる赤本の出番だ。この段階では英文法・語法の問題だけに絞って、過去の公募推薦の問題を1年分（2回分）、時間を決めて解いてみよう。時間は本番に合わせて15分以内。解いたら、答あわせをしてみたい。この時点では、悪くても1回あたり15問中10問以上の正答が必要だ。でも、10問程度の正答でホッとしたり、満足したらダメだよ。合格のためにはAの文法・語法の問題は満点が目標なんだからね。

● 学習プロセス(5) 不十分な分野の補強

(4)での実力チェックの結果はどうだった？15問全て正解の満点なら言うことないけれど、そうじゃない人の方が多いいんじゃないかな？でも、がっかりする必要はない。まだまだ時間はあるんだから。大切なことは、間違った問題のポイントや分野をチェックすること。これは学校の先生や予備校の講師に頼むと良いよ。問題を見せて、「どのような分野の問題で、解答のポイントはどこなのか？」を教えてください。それが分かったら、(3)のプロセスに戻るんだ。問題集や参考書でその分野、ポイントを問題集や参考書を使ってやり直すんだ。つまり、自分の英文法・語法の「穴」を埋めていく作業を行うということだね。この(3)→(4)→(5)のプロセスは、過去問で確実に満点が取れるようになるまで続けて欲しい。では次に英文法・語法の問題集の使い方をアドバイスしよう。

● 文法・語法問題集の使い方

英文法・語法問題のトレーニングで大切なのは、解答に時間をかけすぎないこと。どんどん問題を解いて、やったことのある問題パターンを増やすことが重要だ。思い出して欲しい。模試などで自信を持って確実に正解できた問題はどんな問題だった？似た問題を過去にやったことがある問題だったはず。出来る問題のパターンを増やすためにも、次の①～⑥の手順で問題集を使って欲しい。

実力アップのための手順

- ① 1000題の問題が掲載されている問題集なら12時間で終わらせる
まず1問あたりの解答時間10秒以内、1ページの問題数が10問程度の場合、解答時間は100秒。10問解いたらすぐ解答をチェックする。その時、すぐに解答できて正解だった問題には○、不正解だったが解説を読んで理解、納得できた問題は△、不正解で解説を読んでも何故その答になるか理解できない問題は×の記号を付ける。この解答と解説を読んで3種類の記号を付ける作業に10題でおよそ5分。この「解答→正解チェック→○△×の分類」の作業を問題集の最後まで続ける。例えば1000題の問題が収録されている問題集の場合、解答時間は1問につき10秒で10000秒（約167分）、解答チェック作業を10題につき5分とすると1000題で500分。必要時間の合計は667分（約11.2時間）、誤差を考慮して1冊の問題集をこなすのに必要な時間は12時間となる。
- ② ×の問題の処理
次に×の印を付けた問題を学校の先生や塾、予備校の講師に納得がいくまで質問し、理解する。これに必要な時間は受験生一人一人によって異なる。
- ③ 2冊目の別な問題集に取りかかる
出来なかった問題の質問と理解を行うのと平行して、新しい2冊目の別な問題集に取りかかる。2冊目の問題集でも同様に「解答→正解チェック→○△×の分類」の作業を問題集の最後まで続ける。必要時間は①と同様12時間
- ④ 1冊目の問題集をもう一度やる
②が終わったら、1冊目の問題集をもう一度解く。基本の作業は①と同じであるが、①で○が付いた問題はやらず、△と×の問題のみを解く。△は○に、×だった問題は少なくとも△になるように頑張りたい。この作業に必要な時間は、おそらく①の作業の半分の時間、6時間もあれば十分だろう。

⑤ 2冊目の×の問題の処理

④の作業と平行して、2冊目の問題集で×だった問題の処理を行う。

⑥ 2冊目の問題集をもう一度やる

④と同様のやり方で、再度2冊目の問題集を解く。やはり必要時間は6時間程度。

- このような手順で2冊の問題集（2000題）を2回こなすのに必要な時間は36時間、1日3時間のトレーニングとした場合、12日間。そこに×の問題の処理に必要な時間を加えた時間が、2冊の問題集を完璧にこなすために必要な時間と言うことになる。一人一人の受験生によって異なるけれど、毎日3時間の学習でおよそ2週間、14日程度あれば2冊の問題集で文法・語法の実力をアップさせることができるよ。

[Ⅲ] の解答・解説

Ken: Hi Celeste! Is that really you?
 Celeste: ④ Hey Ken! How are you? 21
 Ken: ① I'm doing great. How long has it been? 22
 Celeste: Not since high school.
 Ken: ② What have you been doing since then? 23
 Celeste: ③ I just got back from a year abroad. I was studying in Japan. 24
 Ken: ⑤ How is your Japanese? 25
 Celeste: Not so good. I was studying business.

【正解】 空所21～25の順に④-①-②-③-⑤

【訳例】

Ken: おっ、セレステちゃん！ ホンマにお前か？
 Celeste: おお、ケンちゃん！ 元気してる？
 Ken: オレはいつも元気やで。長いこと会わへんかったなあ？
 Celeste: 高校卒業以来会（おう）てへんで。
 Ken: あれからどないしとったん？
 Celeste: 1年海外におってな、戻ってきたとこやねん。日本で勉強しとってんよ。
 Ken: 日本語、上手（うま）なったか？
 Celeste: あかんねん、イマイチや。勉強しとったんはビジネスやからな。
 ● 以上、（ガラの悪い）関西弁バージョンでお届けしましたあ（笑）。

会話整序問題の解き方のポイントと手順

- ① 本文と選択肢を1～2回通読し、会話のトピックスと2人の立場の違いを把握する。
- ② 2人の発言数をチェックし、立場の違いを元に選択肢を2つのグループに分ける。
- ③ 話しの流れに沿って、疑問文とその答えのセットを作る。
- ④ 1問4点なので1問のミスは-8点になる！焦らず満点を目指すこと！

【Point in Check】

- ① 会話のトピックスと2人の立場の違い
- Celesteは日本から帰ってきて、久しぶりにKenと出会う。
- Kenは高校を卒業以来Celesteに会っていないので、最初Celesteが日本に行っていたことは知らない。

- ② 発言数をチェック
- Celesteの発言数は2回 空所21と24
- Kenの発言数は3回 空所22と23と25

- ② 選択肢の分類
- Celesteの発言
- ③ I just got back from a year abroad. I was studying in Japan. 【Celeste】
- ④ Hey Ken! How are you? 【Celeste】
この時点で空所21は④、24は③に決まる。
- Kenの発言
- ① I'm doing great. How long has it been? 【Ken】
- ② What have you been doing since then? 【Ken】
- ⑤ How is your Japanese? 【Ken】

- ③ 疑問文とその答えのセットを作る。
- セットを作る際に「省略」を補って考えることが重要！
- 空所21のCelesteの発言④Hey Ken! How are you?に対するKenの返事は① I'm doing great. How long has it been?しかない。
さらにこの①のKenの発言には本文の Not since high school.が続く。時制も同じ現在完了であるため分かりやすい。
- Kenの22に続くCeleste: Not since high school.は
② What have you been doing since then?とセット。
- 上記のように入れていくと、残るのは25のKenの発言とのセットは本文の Not so good. I was studying business.のCelesteの発言。
この文は (My Japanese is) Not so good. (This is because) I was studying business.の省略文。このように1人の人間が2回連続して発言する場合、【結果⇔原因】について【抽象⇔具体】の論理的順番が多い。
詳しくはYouTubeの「シマムラのBasic英語」を視聴してみてください！（宣伝ばっかでごめんねー）

● 問題は会話文だが実際は「文整序問題」

[Ⅲ] 次の下線部 21 ~ 25 を補うのに最も適切な文を①~⑤の中から一つ選べ。

Ken: Did you ever turn in the form?

Rex: 21

Ken: 22

Rex: Oh, I forgot to do that!

Ken: 23

Rex: 24

Ken: 25

- ① OK. I will put you on the list.
- ② The one about the party next week.
- ③ Well, it's not too late. Do you want to go?
- ④ What form?
- ⑤ Yeah, it sounds fun.

【正解】 21－④ 22－② 23－③ 24－⑤ 25－①

【Point in Check】

21. ケンの第1発言「あの申込用紙は提出した？」に続いて、レックスが「何の申込用紙？」と聞き返すのが自然. よって④が適切. turn in～「～を提出する」
22. 申込用紙の内容を説明している②「来週のパーティーについてだよ」が適切. oneはformのくり返しを避けるためのもの.
23. レックスの第2発言「ああ、そうするのを忘れてた」に続くのは③「まあ、遅すぎることはないよ. 行きたい？」が適切.
24. 直前でケンが行きたいかどうか尋ねているので肯定の返事である⑤「うん、おもしろそうだね」が適切.
25. レックスが参加の意思を見せているので①「わかった. 君をリストに載せとくよ」が適切.

- ① 会話問題と文整序問題が合体した良問.
- ② 空所は5つで、2人の会話.
- ③ 2人の発言数に偏り（Aが1回、Bが4回など）のある場合もある.
- ④ 1問は高い方の4点で、1問ミスると同時に2問違えることになるため、細心の注意をはらって満点を目指すべき問題.

合格のためのトレーニング

会話問題の6つのCheck Points

Check Point 1. 指示語・代用表現に注意！

Check Point 2. 省略されているものに注意！

Check Point 3. 繰り返しに注意！

Check Point 4. プラスイメージか、マイナスイメージか？

Check Point 5. 空所の直前・直後以外のセリフに注意！

Check Point 6. 会話定型表現に注意！

Let's Try !

1.

A : We've been driving in circles for an hour. Where are we ?

B : I don't know. Let's stop at the next gas station.

A : Yeah. At least ().

B : Why didn't you get one before we left ?

① they should have a map

② they should know

③ we can ask

④ you can get something

2.

A : Let's watch a different channel.

B : Why? It's a good game.

A : ()

B : Don't worry, you soon will.

① I'm bored.

② I can't catch the ball.

③ I can't understand the rules.

④ I think it's exciting.

3.

A : I've never heard that name before. How do you spell it ?

B : D - A - R - C - Y .

A : ()

B : Oh sure, D - A - R - C - Y .

① Could you repeat that , please?

② Could you say that ,please?

③ Would you explain that, please?

④ Would you name that, please?

4.

A : Would you like to have dinner with me tonight ?

B : ()

A : Then I'll pick you up in ten minutes.

① I've already eaten dinner , thanks .

② No, thanks. I have to study.

③ Sure. I'd like that very much.

④ Yes, but tomorrow would be much better for me.

5.

A : Why are you late ?

B : ()

A : I told you to be home by 5:00 . What happened?

B : I forgot.

① I don't think so.

② I lost my watch.

③ It's already 6 o'clock.

④ It's only 6 o'clock.

6.

A : You don't smoke cigarettes, do you?

B : No, I don't.

A : ()

B : No. Go ahead.

① May I smoke here?

② Is it all right if I smoke?

③ Do you mind if I smoke?

④ Do you like smoking?

Check Point 1 指示語・代用表現に注意

設問の会話文や選択肢の指示語・代用表現が何を指すのか、何の代わりに用いられているのかを考えないと正解に至らないパターンの問題がある。it, they, this, that, these, thoseなどの指示語が何を指しているのか、do, does, didなどの代動詞は何の動詞の代わりをしていると考えられるのか、one, onesなどの代名詞が何の名詞の代わりをしているのかに注意し、整合性のある選択肢を捜すのである。

1.

A : We've been driving in circles for an hour. Where are we ?

B : I don't know. Let's stop at the next gas station.

A : Yeah. At least ().

B : Why didn't you get one before we left ?

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| ① they should have a map | ② they should know |
| ③ we can ask | ④ you can get something |

【正解】 ①

【対訳】

A : 1時間もぐるぐる回っている。ここはどこだろう。

B : わかんない。次のガソリンスタンドで止まってみよう。

A : そうしよう。少なくとも ()。

B : 出発前にどうしてそれを手に入れておかなかったんだい？

- ① 地図があるにちがいない
- ② 知ってるにちがいない
- ③ たずねることができる
- ④ 何か手に入れることができる

【解説】

空欄の直後のBのセリフを見てみよう。Why didn't you get one before we left? 「出発前にどうして手に入れておかなかったんだい？」というセリフのoneに注目。このoneは前出の加算名詞(数えられる名詞)の繰り返しを避けて代わりに用いられる代名詞であるから、そのoneの具体的内容にあたる加算名詞を含むセリフが空欄に入ると推測できる。したがって正解は①。a mapが直後のセリフではoneで代用されていると考えられる。②・③の選択肢には、oneで代用されるべき加算名詞がない。④のsomethingは不特定のものの代わりをする代名詞なので、この場合会話が不自然になる。

Check Point 2 省略されているものに注意

英語では繰り返しの語句が省略されることがよくある。省略されることが多いのは、can,will などの助動詞や、to 不定詞のtoのあとの動詞の原形以外が会話の中で繰り返しになるケースである。そういった省略に注目して、「省略されているのはどういう語句か？」を考えることによって正解に至るパターンの問題がある。

2.

A : Let's watch a different channel.

B : Why? It's a good game.

A : ()

B : Don't worry, you soon will.

① I'm bored.

② I can't catch the ball.

③ I can't understand the rules.

④ I think it's exciting.

【正解】 ③

【対訳】

A : チャンネル変えよう。

B : どうして？いい試合じゃないか。

A : ()

B : 心配ないよ、すぐわかるよ。

①ぼくは退屈だ。

②ボールを捕れない。

③ルールがわからないよ。

④わくわくするね。

【解説】

まず冒頭のAのセリフから、2人はテレビを見ていて、しかもAは今見ている番組に不満であることがわかる。したがって②と④はまず消える。②なら2人は実際に何かの球技をしていることになるし、④ならAが「チャンネル変えよう」と言うはずがないからだ。冒頭のAのセリフに矛盾しない選択肢は①と③に絞られる。そこで最後のBのセリフ Don't worry, you soon will. のwill 以下の省略に注目。「繰り返しが省略される」という省略の原則に基づいて考えるなら、②が正解ならbe boredが、③が正解ならunderstand the rules がwill のあとに省略されていることになる。もし①が正解だとすると、最後のBのセリフがDon't worry, you soon will (be bored) 「心配ないよ、すぐに退屈するよ」の省略形だということになってしまい不合理。③ならそれがDon't worry, you soon will (understand the rule). 「心配ないよ、すぐにルールがわかるよ」の省略形ということになってつじつまがあう。

Check Point 3 繰り返しに注意

Aが何かセリフを言ってその後Bの空欄をはさんでまたAがほとんど同じ内容のセリフを繰り返すというパターン、すなわち空欄をはさんでまったく話が進展していないパターンである。この場合、空欄には相手のセリフが聞き取れなかったなどの理由でもう一度同じことを繰り返してくれるよう促すセリフが入る。

3.

A : I've never heard that name before. How do you spell it ?

B : D - A - R - C - Y .

A : ()

B : Oh sure, D - A - R - C - Y .

① Could you repeat that , please?

② Could you say that , please?

③ Would you explain that, please?

④ Would you name that, please?

【正解】 ①

【対訳】

A : そういう名前は今まで聞いたことがないなあ。どういうつづりですか？

B : D - A - R - C - Y ですよ。

A : ()

B : ああいいですよ、D - A - R - C - Y です。

①もう一度繰り返してもらえますか？

②それを言ってもらえますか？

③それを説明してもらえますか？

④それを名づけてもらえますか？

【解説】

空欄の直前のBのセリフは、その前のAの依頼に対してD - A - R - C - Yとつづりを答えたもの。空欄をはさんでBはまたOh sure , D - A - R - C - Yとほぼ同じことを言っている。つまり2つのBのセリフの間には話の転換があるわけでもなく、あとのセリフが前のセリフより具体的なものになっているわけでもなく、単なる繰り返しに終わっている。したがって正解は相手に繰り返しを促す①ということになる。

Check Point 4 プラスイメージか、マイナスイメージかに注意

選択肢に目を通さなくても会話文の流れから空欄に入るセリフが少なくとも+「プラス」イメージ（相手のセリフに対して同意・賛成・賞賛などを示すセリフ）か、-「マイナス」イメージ（相手のセリフに対して拒絶・反対・非難などを示すセリフ）かのどちらかは見当がつく場合が極めて多い。選択肢に目を通す前にその見当をつけておくと一気に選択肢を絞る込めることができ、能率的に正解に至るケースが多々ある。

4.

A : Would you like to have dinner with me tonight ?

B : ()

A : Then I'll pick you up in ten minutes.

- ① I've already eaten dinner , thanks . ② No, thanks. I have to study.
 ③ Sure. I'd like that very much. ④ Yes, but tomorrow would be much better for me.

【正解】 ③

【対訳】

A : 今日夕食いっしょにいかが？

B : ()

A : それじゃあ10分したら車で迎えに行くよ.

- ①夕食もう食べちゃったんです。
 ②いや、結構。勉強しなくちゃいけないので。
 ③もちろん。それはとてもいいですねえ。
 ④ええ、でも私としては明日の方がずっと好都合なんです。

【解説】

冒頭Aの今日の夕食の誘いに対するBの返答の後、Aが I'll pick you up in ten minutes. 「10分で迎えに行く」と言っていることから、Bのセリフの空欄にはAの誘いに同意するプラスイメージのセリフが入るはずだと見当をつけることができる。それに沿う選択肢は③しかない。①②④は程度の差はあれ、すべて「今日夕食を食べに行く」ことに対して、拒絶・難色を示すセリフである。

Check Point 5 空欄の直前・直後以外のセリフにも注意

空欄の直前・直後だけの文脈で安易に答えを導き出すと落とし穴にはまるケースがある。常に全体を通して文脈を検討する視点を失わないでほしい。

5.

A : Why are you late ?

B : ()

A : I told you to be home by 5:00 . What happened?

B : I forgot.

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| ① I don't think so. | ② I lost my watch. |
| ③ It's already 6 o'clock. | ④ It's only 6 o'clock. |

【正解】 ④

【対訳】

A : なぜ遅くなったの？

B : ()

A : 5時までに戻るように言ったでしょう。どうしたの？

B : 忘れてた。

- | | |
|-----------|-------------|
| ①そうは思わない。 | ②時計をなくしたんだ。 |
| ③もう6時です。 | ④まだ6時だよ。 |

【解説】

空欄の直前のAの疑問文Why are you late? 「なぜ遅くなったの？」のwhy 「なぜ」から単純に理由を述べる応答文を選ぼうとすると、②あたりに飛びつく者もいるのではないだろうか。しかし続きの会話を吟味してみよう。空欄の後のAとBの受け答えを最後まで読めば、BはどうもAの言いつけを忘れていて、最初にWhy are you late ? 「なぜ遅くなったの」と問われた段階では、Bには自分は遅くなったという認識がなかったのだということが把握でき、この状況で最も自然な答えは④ということになる。つまり最後まで読んで初めて状況がわかってくるのである。

Check Point 6 定型表現に注意

ここまで、特に前後関係から解答を割り出すテクニックを中心に解説をしてきたが、会話問題には会話特有の表現を覚えておかなければ解けないものもあるし、またそのような表現に習熟しておかなければ、文脈をとる際に間違った解釈をしてしまう場合もある。

6.

A : You don't smoke cigarettes, do you?

B : No, I don't.

A : ()

B : No. Go ahead.

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| ① May I smoke here? | ② Is it all right if I smoke? |
| ③ Do you mind if I smoke? | ④ Do you like smoking? |

【正解】 ③

【対訳】

A : あなたはタバコをすわれませんか。

B : はい、すいません。

A : ()

B : いいですよ。どうぞ。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ①ここでタバコをすってもいいですか？ | ②タバコをすってもいいですか？ |
| ③タバコをすってもいいですか？ | ④タバコは好きですか？ |

【解説】

最後のBのセリフ、Go ahead. 「どうぞ」に注目。これは許可を求められたときに好意的に「どうぞ」と言う場合に用いられる表現。Aは空欄でタバコを吸う許可を求めたと考えられる。しかしタバコを吸う許可を求める選択肢は①②③の3つもある。そこで最後のセリフのNoに注目。「いいですよ。」と許可する際に否定表現を用いているため、Aは、③のDo you mind~?の形で許可を求めたものと考えられる。

中文読解問題へのアプローチ

● 9月以降は読解問題のトレーニング

[I]の読解問題は英文内容、設問レベルともにスタンダードで平易な問題である。本番では[II][IV]を先に解いて（10分程度）、時間に余裕を持ってあたるべきである。読解の方法論はYouTubeをみてくださいね。

【出典】2015年11月19日

[I] 次の文章を読み、問いに答えよ。

If your family is like many in the United States, unloading the week's groceries includes carrying a case or two of bottled water into your home. On your way to a soccer game or other activity, it's easy to grab a cold one right out of the fridge, right? But all those plastic bottles use a lot of fossil fuels and pollute the environment. In fact, Americans buy more bottled water than any other nation in the world, adding 29 billion water bottles a year to the problem. In order make all these bottles, manufacturers use 17 million barrels of crude oil. That's enough oil to keep a million cars (1) for twelve months. (2) a water bottle filled a quarter of the way up with oil. That's about how much oil was needed to produce the bottle.

問1 空所 (1) を満たすものをして最も適切なものを①～④の中から一つ選べ。

- ① at the gas station ② halting ③ in the garage ④ going

【正解】④ going

【Point in Check】

● keep *A doing* 「Aを～させ続ける」と考える。（ 1 ）直前の分に製造業者が水のボトルをつくるためにどれだけの石油を使うかが述べられている。そして（ 1 ）を含む文が「それは～するのに十分な量の石油だ」と続くので「12カ月間100万台の車を走らせ続ける」となる④が適切。

問2 空所 (2) を満たすものをして最も適切なものを①～④の中から一つ選べ。

- ① Grab ② Buy ③ Imagine ④ Raise

【正解】 ③ Imagine

【Point in Check】

● どの選択肢も動詞の原形で始まることになるので (2) を含む文は命令文となる。(2) 直後の文に「それがボトルを製造するのに必要とされる大体の石油の量だ」とあるので、説明のために読者に想像を促す③が適切。

So why don't more people drink water straight from the kitchen faucet? Some people drink bottled water because they think (3)it is better for them than water out of the tap, but that's not true. In the United States, local governments make sure water from the faucet is safe. There is also growing concern that chemicals in the bottles themselves may leach(注1) into the water. leach 染み出る

問3 下線部 (3) の指示する内容として最も適切なものを①～④の中から一つ選べ。

- ① a kitchen faucet ② bottled water
③ water out of the top ④ a local government

【正解】 ② bottled water

【Point in Check】

● 何が人々にとってwater out of the tap 「蛇口から出る水」よりよいか考えると②が適切。

People love the convenience of bottled water. But maybe if they realized the problems it causes, they would try drinking from a glass at home or carrying water in a (4) steel container instead of plastic.

問4 空所 (4) を満たすものをして最も適切なものを①～④の中から一つ選べ.

- ① decomposable ② edible ③ inflatable ④ refillable

【正解】 ④ refillable

【Point in Check】

● 問題のあるプラスチックボトルに対して、「詰め替えが可能な」スチームボトルと考える. decomposable「分解にすることができる」edible「食用に適する」inflatable「ふくらますことができる」refillable「詰め替えることができる」第4段第1文冒頭のrecyclingに注目.

Plastic bottle recycling can help—instead of going out with the trash, plastic bottles can be (5) into items like carpeting or cozy fleece clothing. Unfortunately, for every six water bottles we use, only one makes it to the recycling bin. (6)The rest are sent to landfills(注2). Or, even worse, they end up as trash on the land and in rivers, lakes, and the ocean. Plastic bottles take many hundreds of years to disintegrate(注3). landfill 埋立地 disintegrate 分離する

問5 空所 (5) を満たすものをして最も適切なものを①～④の中から一つ選べ.

- ① cut ② melted ③ turned ④ sliced

【正解】 ③ turned

【Point in Check】

● 「ゴミとして捨てられるプラスチックボトルは、カーペットなどの製品にかわる」の意味にする. turn A into B「AをBにかえる」の受身形.
6. 下線部(6)前文の内容「6本のうち1本しかリサイクルされない」ことから、the rest「その残り」は使用されたウォーターボトルの6分の5となるので③が適切.

問6 下線部 (6) の内容として最も適切なものを①～④の中から一つ選べ。

- ① one-sixth of used water containers ② one-half of recycling bins
③ two-thirds of landfills ④ five-sixths of used water bottles

【正解】 ④ five-sixths of used water bottles

【Point in Check】

● 下線部(6)前文の内容「6本のうち1本しかリサイクルされない」ことから、the rest「その残り」は使用されたウォーターボトルの6分の5となるので④が適切。

Water is good for you, so keep drinking (7)it. But think about how often you use water bottles, and see if you can make a change. And yes, you can make a (8). Remember this: Recycling one plastic bottle can save enough energy to power a 60-watt light bulb for six hours.

問7 下線部 (7) の内容として最も適切なものを①～④の中から一つ選べ。

- ① bottled water ② river water ③ water ④ water from the faucet

【正解】 ③ water

【Point in Check】

● 直前に「水は健康によい」とあるのでボトルに入った水などの限定された水の話ではない。よって③が適切。

問8 空所（ 8 ）を満たすものをして最も適切なものを①～④の中から一つ選べ。

- ① bottle ② container ③ difference ④ landfill

【正解】③ difference

【Point in Check】

● 直前文のmakeachangeを言い換えたもの。makeadifference「変わる」ここではウォーターボトルの水を飲まないで水道水を飲むことを指す。

問10 本文の内容と一致するものを①～⑦の中から三つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。【正解】② ⑤ ⑦

- ① Many American families go to grocery store twice a month.

【Point in Check】

● 第1段第1文と一致しない。the week's groceries「一週間分の食料品」

- ② Americans are the biggest consumers of bottled water.

【Point in Check】

● 第1段第4文「アメリカ人は他のどの国よりも多くのボトルに入った水を買っている」と一致する。

- ③ A plastic bottle needs a quarter barrel of oil to make.

【Point in Check】

● 第1段第7文と最終文より、プラスチックボトルを1本作るのにボトルの4分の1の石油が必要である。よって一致しない。

- ④ Bottled water is safer than water from the tap.

【Point in Check】

● 第2段最終文と一致しない。プラスチックボトルから化学物質が溶け出す可能性がある。

⑤ Local governments are trying their best to supply Americans with clean water.

【Point in Check】

● 第2段第3文の内容と一致する。地方政府が水道水を安全だと確認しているということは清潔な水を供給するためにベストをつくしていると判断できる。

⑥ Most plastic bottles are recycled.

【Point in Check】

● 第4段第2文と一致しない。6本のうち1本しかリサイクルされないものである。

⑦ It takes centuries for plastic bottles to disintegrate naturally.

【Point in Check】

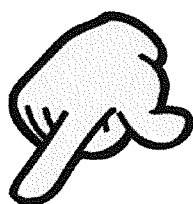
● 「プラスチックボトルが自然に分解するのに数世紀かかる」の意味。第4段最終文に一致する。

Youtube

シマムラの Standard 英語を是非参考にしてください

入試英語で問われる内容

- 中学・高校で、英語の何を学んできたのだろうか？
- 英語の入試問題では何が問われるのだろうか？
どんな知識や考え方が問われるのだろうか？
- 追手門学院大の入試問題で合格点をとるためには、何を知らなくてはいけないのだろうか？
- どのような内容を覚え、どのようなトレーニングをすれば追手門学院大に合格できるのだろうか？



英語の入試問題で問われるのは
英語の正しい順序だ！

合格するには英語の正しい順序の理論を理解し、その理論を問題に当てはめて考えるトレーニングが必要！

英語で大切なのはOrder（順序）

日本語と英語の比較

英語と日本語の違いを考える場合の大切なことの1つに「語順」があります。この語順の違いを理解することは、英語学習にとって最重要課題の1つですから、ここで少し説明します。以下の2つの文を比較してみましょう。

- ① 私はたくさんお金を持っている。【日本語】
- ② I have a lot of money. 【英語】

日本語で大切なのは「助詞」

①の日本語では「助詞」の働きによって、かなり自由に単語の位置を変えることができます。例えば、主語の「私は」の位置を変え、「たくさん私はお金を持っている。」あるいは「たくさんお金を私は持っている。」としても、日本語の意味はほとんど変わりません。目的語の「お金を」にしても、比較的自由に文中でその位置を変えることが可能です。つまり、日本語では「助詞」のおかげで比較的自由に、単語の順序を変えることができるのです。

英語ではOrder（順序）が全て

一方、英語では Have I a lot of money. としたり、Have a lot of I money. とすることはできません。英語には日本語の助詞にあたるものがないからです。つまり、英語では単語の並んでいる順序、**Order**が大切なのだと言えます。では、英語の単語の順序を決定しているルールは何なのでしょう？実は英語の様々な順序を決定しているのは**3つ**のルールなのです。では、英語の順番を決めているのは何なのでしょう？

● 順序が違うと意味も違う??

例題1 次の①と②の英文の違いを説明しなさい。

- ① He bought his girlfriend a beautiful dress.
- ② He bought a beautiful dress for his girlfriend.

～ Point in Check ～

● 中学時代から第4文型の英語は第3文型にイコールで書き換えられると習ってきたと思いますが、表現や順序が異なる限り、そこには違いが存在します。①と②が答となる疑問文を考えてみれば、その違いがハッキリします。

①の英文は**What did he buy for his girlfriend ?**

「彼は恋人に何を買ってあげたのですか？」の疑問文の答であり、

②の英文は**Who did he buy a beautiful dress for ?**

「彼は誰に美しいドレスを買ってあげたのですか？」の答です。

● これは専門的には【文末焦点の原則】とか【後方重点の法則】と呼ばれるもので、英語では話し手と聞き手が既に知っている内容をテーマにし、「（情報としての価値の低い）古い情報から、（情報としての価値の高い）新しい情報へ」という順で表現が進んでいくことを表しています。つまり、話している相手や読者にとって重要な具体的内容は後に置かれるという原則で、英語の順序Orderとして、①では後ろに置かれている a beautiful dress が重要な新情報であり、②では for his girlfriend が重要な新情報ということになります。

【正解】 ①は a beautiful dress が、②では for his girlfriend が重要な情報。

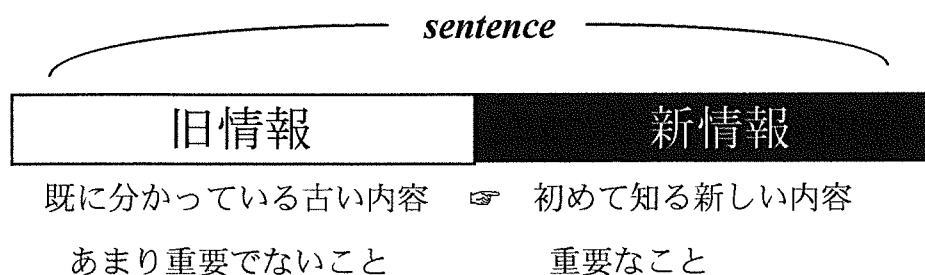
例題2 次の①と②の英文の違いを説明しなさい。

- ① This year, I'm going to take entrance examinations to A University.
- ② I'm going to take entrance examinations to A University this year.

～ **Point in Check** ～

●【文末焦点の原則】によって、文末にある情報が重要になります。①ではto A Universityが、②ではthis yearが英文の焦点、中心となる重要な情報です。つまり、①は「今年はこの大学を受験するの？」の答（A大学だよ）であるし、②は「A大学をいつ受験するの？」に対する答（今年だよ）だということになるのです。つまり、①ではto A Universityが、②ではthis yearが重要な情報ということになります。例題1～例題2の順序を旧情報 ⇄ 新情報の**Order**と言います。

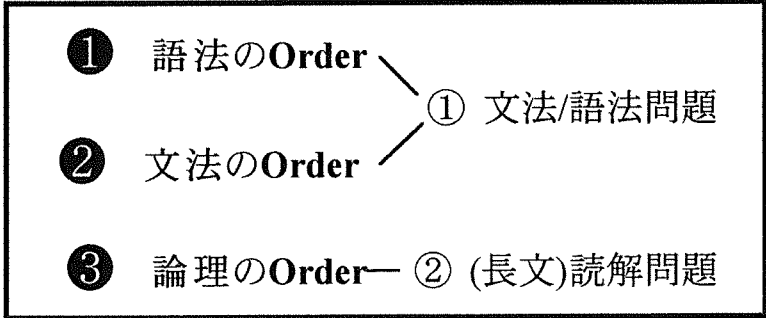
旧情報 ⇄ 新情報の**Order**のvisual image



● では、このような順序はどのようなルールによって決まるのだろうか？

英語の3つのOrder（順序）

順序を決める
3つのOrder

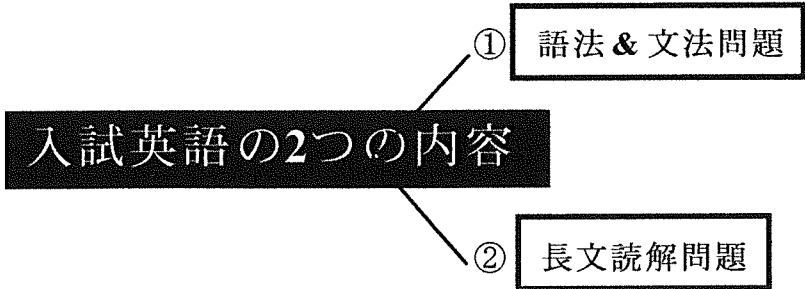


入試英語の2つの内容

大学の入学試験で出題される英語の問題は大きく2つの内容に分かれます。外国語としての英語の習得を目的とした問題と、書かれている英文の内容を問う問題です。発音・アクセントや文法・語法の問題は主に前者に、内容一致問題や内容説明問題などは主に後者に分類されます。現代文でいえば、漢字の書き取りや文学史の問題は国語としての知識のみを問うものであり、読解問題は正にその内容に対する読解力を問う問題といえることができます。

英語長文は読解問題が中心

英語長文はというと、出題される設問は様々で、設問によって英語の知識だけを問うもの、前後の文脈を読みとる力を試すものの両方があります。しかし、「読解」という名が示す通り、問題作成の主眼は読解力を試すことにある場合が多く、私立大学、中でも難関、上位と呼ばれる大学や国公立大学の二次試験では、英文の内容に対する読解力を試す問題が中心的に出題されています。この点は、やはり現代文の入試に関しても同じことが言えます。



英語の3つのOrder

- では、ここからは3つのOrderに詳しく解説していきます。それと同時に、3つのOrderが入試問題のなかでどのように問われ、出題されるのかを例題を通して見ていくことにしましょう。

次の例題3～例題5をやってみてください、

【解答時間：1分】

① 語法のOrder

例題3 空所に共通して入る最も適当なものを①～④から1つ選びなさい。

I'm always depending () my mother. I must do it by myself.

Japanese people live () rice.

- ① for ② at ③ in ④ on

例題4 次の①～⑥の英文の中で、正しいものを選びなさい。ただし、正しい選択肢が1つとは限りません。

① I went his house.

④ I visited his house.

② I went to his house.

⑤ I visited to his house.

③ Let's go !

⑥ Let's visit !

例題5 英文が文法・語法的に正しく自然な英文となるように①～④から1つ選んで空所を埋めなさい。

『遠くから見ると、その大きな岩は人間の顔のように見える』

() from a distance, the huge rock looks like a human face.

- ① See ② To see ③ Seeing ④ Seen

Youtube

シマムラの Basic 英語を是非参考にしてください

① 語法のOrder

例題3 空所に共通して入る最も適当なものを①～④から1つ選びなさい。

I'm always depending () my mother. I must do it by myself.

Japanese people live () rice.

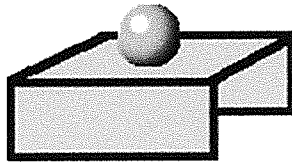
① for ② at ③ in ④ on

【正答】④ on

～ Point in Check ～

● 語法で決まる自動詞と前置詞のOrder

on : 表面への接触



Basic Image

- ① ①接触 ②支点・支え ③依存
④根拠・基礎 ⑤継続(状態)・進行(状態)
- ② ①on+日→on+特定の日の朝昼晩
②「～すると(すぐに)」

● onは“接触”が基本イメージ。

◎ 接触していればon

onは“接触”でほとんど片が付く。特に「接触した上の位置にある」ことを表すのが基本である。

- ① ① 接触 上だけでなく、横でも下でも“接触”していればon。
 There's a book **on** the desk. (机の上に本がある)
 Look at the fly **on** the ceiling. (天井にとまっている蠅をみろ)
- ② 支点・支え あるものが他のものに接触し、それを支えにすること。
 I can stand **on** my hands. (私は逆立ちができる)
- ③ 依存 “支え”の意味が拡張したもの。「上にある」ということは、見方を変えれば「下のものに支えられている」、すなわち“依存”していることになる。
 He is totally dependent **on** his parents.
 (彼は両親に頼り切っている)
- ④ 根拠・基礎 「土台の上に成り立っている」という感じ。
 I always act **on** my intuition.
 (私はいつも自分の直感に基づいて行動する)
- ⑤ 継続(状態)・進行(状態) 何かに接触した状態が続いていくことを表す。
 The population of the world is **on** the increase.
 (世界の人口は増加している)

◎ 時に関するon

atやinとの比較で、時のonは問題になる。

- ② ① 日付 日だけでなく、特定の日の朝昼晩にもonがつく。
 I was born **on** October 15. (私は10月15日に生まれました)
 The accident happened **on** Saturday morning.
 (その事故は土曜日の朝に起こった)

- ② 「～すると (すぐに)」 「ある行為 (状態) と他の行為 (状態) が時間的に接触している」と考えればよい. なお、〈on+～ing〉と〈on+～ing〉の対比を前置詞の面から理解すること.

On her death, her house was sold.

(彼女の死後すぐに彼女の家は売られた)

和訳して前置詞のイメージを作ろう

- ①接触 There was a picture on the wall.
 →②支持・依存 This story is based on fact.
 →③関連 He made a speech on Japan.
 →④進行 That CD will be on sale tomorrow.
 →⑤同時 On returning Japan, he called on me.

イメージ連想法

on は「①接触」という表面への接触が基本的なイメージ

「接触」から「～を支えにして」という「②支持・依存」の意味が生まれる。「接触」しているからこそ、「支え」になるのである。depend on A「Aに依存している」、be based on A「Aに基づいている」、live on A「Aを常食としている」などイディオムでの使用例は多く見られる。また、「あるものに接触している」というイメージから「③関連」の意味が生まれる。about が表す「関連」は「周囲・間接」が基本的なイメージだが on は「接触」が基本イメージなので、そのものに関してズバリと述べるイメージになる。have an effect on A「Aに影響を与える」などがその例。「接触」がさらに抽象的なイメージで使われると、「④進行」の意味になる。on fire「燃えている」、on sale「発売中」などがその例。この意味のonは目的語なしで副詞としてもよく使われる。on and on「どンドン」、from now on「今後ずっと」などが例として挙げられる。

また、時間に関して使われる on は on Sunday「日曜日に」や on the evening of the 10th「10日の夜に」のように「(日や特定の日の朝・夜 etc) に」の意味で使われる他に、「⑤同時」を表す用法がある。ここにも「ある動作とある動作が接触している」という「接触」のイメージが生きている。

【参考】①に関して

文字どおりの「表面的な接触」はさまざまな使われ方をする。

- ①-(1) I have no money on me. (お金の持ち合わせがない)
- ①-(2) He had a sad look on him. (悲しそうな顔をしていた)
- ①-(3) I wrote a letter on blue paper. (青い紙に書いた)
- ①-(4) I got on a train. (電車に乗った)

これらは、いずれも「～に接して」が比喩的に使われたもの。

①-(1)は「自分の体に身に付けて持っている」の意味で「持ち合わせている(いない)」の意味。①-(2)は「顔に悲しそうな表情をくっつけている」のイメージ。①-(3)は比較的文字どおりのイメージに近い使われ方。また、get in a car では「車の中に乗り込む」感じがあるのに対して、電車などの公共の交通機関の場合は「～の中に」乗り込んで、その内部に居ることを意識するのではなく、単に「表面的に接触している」感じになるので①-(4)のような使われ方になる。

【参考】「③関連」：on の直接性に関して

「③関連」で about と比較して on は「接触」が基本イメージなので about と比べると直接的、と述べたが、これは call on A 「A(人)を訪問する」と call at A 「A(家など)を訪問する」についても言える。ある人の家を訪問する際の直接の目的は、その家の人に会うことであろう。そこで、訪問の直接の目的である人が目的語になる場合は前置詞に on が使われるのである。これは wait on A が「A に仕える」にも言えるだろう。「直接相手に対して用件を聞く」というニュアンスである。

【例文の訳例】

- ①壁に絵が掛かっていた。
- ②この話は実話に基づいている。
- ③彼は日本に関する演説をした。
- ④あのCDは明日発売される。
- ⑤日本に帰るとすぐに彼は私を訪ねてきた。

例題4 次の①～⑥の英文の中で、正しいものを選びなさい。ただし、正しい選択肢が1つとは限りません。

- ① I went his house.
- ② I went to his house.
- ③ Let's go !
- ④ I visited his house.
- ⑤ I visited to his house.
- ⑥ Let's visit !

【正答】 ② ③ ④

～ Point in Check ～

- 自動詞・他動詞のOrder



どうだったあ？できたかなあ？

- 正解を得るには動詞の語法が決める順序 **Order**が必要です。それは次のような動詞の語法上の区別です。全ての動詞はどちらかに分類されます。

他動詞と自動詞の区別

自動詞：英文中で目的語を必要とせず、動詞単独で英文中で存在できる。
 目的語をとる場合にはその前に前置詞を置かなくてはならない。
 他動詞：英文中で必ず目的語を必要とし、単独で英文中で存在できない。

- この動詞の語法、**go**と**visit**がそれぞれ自動詞か他動詞かという知識によって、後続する単語の**Order**が決定され、正解が②③④に決まります。

go とvisit の語法とOrder

- **go** は「行く」の意味では完全自動詞
- **visit** は「訪れる」の意味で他動詞



英語の基本Orderは動詞の語法で決まる

go=自動詞、visit=他動詞の知識によって以下のように判断できるのです。

- ① I went his house. 【×】 : 前置詞がない
- ④ I visited his house. 【○】 : 目的語がある
- ② I went to his house. 【○】 : 前置詞がある
- ⑤ I visited to his house. 【×】 : 目的語がない
- ③ Let's go! 【○】 : 単独で存在できる
- ⑥ Let's visit ! 【×】 : 単独で存在できない

他動詞と自動詞の区別は暗記するしかない

● 『go「行く」の意味では自動詞で目的語を必要としない。目的語として名詞を後続させるには、その名詞の前に「前置詞」（この場合 to）が必要である。一方visit は直後に名詞の目的語がなければ使うことの出来ない他動詞である』という区別は、暗記によってのみ与えられる知識です。この他動詞と自動詞の区別によって、続く単語の種類、順序、つまり文型が決まるというのは覚えるしかないのです。もう一つ問題をやってみてください。

Youtube

シマムラの **Basic** 英語を是非参考にしてください

例題5 英文が文法・語法的に正しく自然な英文となるように①～④から1つ選んで空所を埋めなさい。

『遠くから見ると、その大きな岩は人間の顔のように見える』

() from a distance, the huge rock looks like a human face.

- ① See ② To see ③ Seeing ④ Seen

【正答】④ Seen

～ Point in Check ～

- 他動詞のseeのOrder
- やはり動詞Seeの語法を知らなければ、この問題は解けません。

seeの語法とOrder

- **see**は「見る」の意味で他動詞

see「見る」は他動詞で、例題4の**visit**と同じ他動詞です。つまり、後ろに名詞の目的語が続くのが**see**の**Order**です。ところが①、②、③はその後ろに名詞の目的語がない、正しい**Order**ではないために正解にならない訳です。

正しい **usage order**

- | | | | |
|----------|---|------|-----|
| ① See | } | + 名詞 | ☞ ○ |
| ② To see | | | |
| ③ Seeing | | | |

間違った **usage order**

- | | | | |
|----------|---|--------|-----|
| ① See | } | + from | ☞ × |
| ② To see | | | |
| ③ Seeing | | | |
- 【前置詞】

【正解】④

語法は暗記だあ！！

「人は～する方、モノは～される方」式の考え方は×

● この例題5は「意味」つまり、よく言われる「人は～する方で、物は～される方だ」式の考え方では解けません。「この英文は主語が**the huge rock**で大きい岩の意味だ。**Seeing**を選ぶと、岩が見ることになってしまうから×だ」は間違った考え方です。それは問題文を次のように変えてみれば明らかです。

「遠くから見ると、島村は私の父のように見える」

from a distance, **Mr. Shimamura** looks like **my father**.

- ① See ② To see ③ Seeing ④ Seen

● このように主節の主語を人間である島村に変えても、やはり正解は④のままです。「人は～する方」で「モノは～される方」の考え方では、英語を正しく理解できるようにはなりません。このような考え方は「暗記によってのみ可能になる内容（語法）」と「理解することで得られる意味や論理（文法）」を区別せず、混同してしまうことから起こるミスなのです。この問題は**see**が他動詞であるという語法を知らなければ、100万年経っても正解は得られません。

しかし、**see**が他動詞であるという知識によって、少なくとも①、②、③は正解にならないことは分かるとしても、では何故④の**Seen**が正解なのでしょう？ どうして、**Seen**の後ろには名詞がなくても構わないのでしょうか？ それを理解するには、次のような文法のルールを知っていなくてはなりません。

他動詞の後ろに名詞がない場合 ⇨ 前に置かれている

● つまり、本来は他動詞の後ろにあるべき目的語である名詞が、何らかの理由で動詞よりも前に置かれているのです。その理由には次のようなものがあります。

目的語が前置される**Order**を決定する文法ルール

- ① 受動態
- ② 関係代名詞・目的格
- ③ 不定詞・形容詞用法・目的格
- ④ *too ~to*…の構文 ⇨ **OSVのOrder**
- ⑤ *tough*構文 不定詞バージョン
- ⑥ *tough*構文 動名詞バージョン (*need ~ing*, *be worth ~ing*)
- ⑦ *OSV*(強調)

● 上記の7つのルールで文法・語法問題で頻出するばかりでなく、長文読解の際にも重要なのが ① 受動態 と② 関係代名詞の場合です。先ほどの例題5は①の受動態の文法ルールです。

● 単文で主語と同じ目的語の名詞は省略される。

④ *too ~to*…の構文

This coffee is too hot for me to drink.

(省略されている他動詞drink.の目的語は主語と同じthis coffee)

⑤ *tough*構文 不定詞バージョン

Tom is easy to get along with.

(省略されている前置詞with.の目的語は主語と同じTom)

⑥ *tough*構文 動名詞バージョン

My watch needs [is worth] repairing.

(省略されている他動詞 repair(ing)の目的語は主語と同じmy watch)

Youtubeシマムラの **Basic** 英語を是非参考にしてください**② 文法のOrder**

● 次は文法のOrderの問題です。次の例題6～例題10をやってみてください、
【解答時間：1分30秒】

例題6 次の空所にwhich / where のどちらかを入れなさい。

This is the house.() I visited yesterday.

This is the house.() I arrived yesterday.

例題7 空所に入る最も適当なものを①～④から一つ選びなさい。

Soon we came to a hill at the foot () stood a deserted factory.

① in which ② of which ③ which ④ whose

例題8 次の英文の誤りを指摘し、正しく直しなさい。

「私の趣味は切手を集めることです」

My hobby is to collect stamps.

例題9 次の英文の誤りを指摘し、正しく直しなさい。

「この車は値段が高すぎるから、買うのは諦めなくてはならない」

This car is too expensive. We have to give up buying it.

例題10 (1)～(2)はそれぞれ他動詞 expect / hope の目的語に名詞節のthat that S+Vが置かれている正しい英文ですが、that 節内の willの有無の違いを説明しなさい。

(1) I expect that it will rain tomrrow.

(2) I hope that it rains tomorrow.

② 文法のOrder

例題6 次の空所にwhich / where のどちらかを入れなさい。

This is the house.((1)) I visited yesterday.

This is the house.((2)) I arrived yesterday.

【正答】(1) which (2) where

～ Point in Check ～

- 関係詞の文法 Order
- visit が他動詞、arriveが自動詞だという語法知識

関係詞の基本

- 関係代名詞や関係副詞を使って2文を1文にする場合の、必要条件は「2つの文の中に同じ名詞がある」ことである。
- 代名詞には「関係代名詞形」、(指示)副詞には「関係形容詞形」、(指示)形容詞には「関係形容詞形」がある。

■ 関係代名詞の手順①

This is **the house**. I visited **the house** yesterday.

☞ This is **the house**. I visited **it** yesterday.

【同じ名詞がでてきたら代名詞に変える】

☞ This is **the house**. I visited **which** yesterday.

【代名詞を関係代名詞形に変える】

☞ This is **the house** **which** I visited yesterday.

【関係代名詞は文頭に出てピリオドを外す】

- 上記の手順で最も重要なのは、それぞれの代名詞の関係代名詞形を覚えることである。代名詞→関係代名詞形の変化の対応関係は、次の表を参照。

代名詞の関係代名詞形への変化				
	主格	目的格	補格	所有格
モノ	which / that (it / they)	which / that (it / them)	that (it / them)	whose (its / their)
人	who / that (I / you / he / she / they)	whom / that (me / you / him / her / them)	that (me / you / him / / her / them)	whose (my / your / his / her / their)

() 内は代名詞. 太字・大文字が () 内の代名詞の「関係代名詞形」

問題A This is the book () I have long wanted to read.

- ①which ②whose ③whom ④that

【正答】 ①whichと④that

【訳例】 これは私が長い間読みたかった本です。

Point in Check

- 関係代名詞・目的格
- 理解の手順
- ① 先行詞を決定する
- ☞ 先行詞は**the book**
- ② 先行詞を空所以下の適切な場所に代入する。
- ☞ I have long wanted to read **the book**.
- 後続する英文の read が【他動詞】であることから、**the book**の位置が決まる。
- ③ 代入した位置、役割に応じて先行詞を代名詞に変換。
- ☞ I have long wanted to read **the book**. ☞ I have long wanted to read **it**.
- 後続する英文中で**the book** は read の目的語で、代名詞形は **it**.
- ④ その代名詞を関係代名詞（形）に変換。
- ☞ I have long wanted to read **it**. ☞ I have long wanted to read **which**.
- 例外的に、人以外の名詞の関係代名詞（形）は疑問代名詞の**which** で表す。
- 関係代名詞（形）は、「先行詞」と「先行詞を代入した時の格」で決まる。
- この問題では先行詞は**The book** でモノ、元の英文I have long wanted to read **the book**. ☞ I have long wanted to read **it**. で、先行詞は目的語[目的格]として働いている。そこで**The book** ☞ **it** ☞ **which**の手順で関係代名詞形が決定される。

問題B This is the village () our uncle was born.

①which

②that

③in that

④where

【正答】 ④where

【訳例】 これは私たちの叔父が生まれた村です。

～ Point in Check ～

● 関係副詞 **where**

● 理解の手順

① 先行詞を決定する

☞ 先行詞は**the village**

② 空所以下が完全文の場合、前置詞+先行詞が入るかどうかが検討する。

the villageはこのままの形では空所以下の英文に入らない。何故なら、先行詞**the village**は名詞であり、名詞は必ず英文中で主語・目的語・補語の「必要な要素」として働くが、空所以下の**our uncle was born.**は足りない要素のない「完全文」であるため。

☞ **The village** our uncle was born. [×]

☞ Our uncle was born **the village.** [×]

そこでどのような前置詞+先行詞が完全文に必要なか考える。

☞ [前置詞] + **the village** our uncle was born.

☞ Our uncle was born + [前置詞] **the village.**

すると、Our uncle was born **in the village.**が得られる。

③ 前置詞+先行詞を空所以下の適切な場所に代入する。

☞ Our uncle was born **in the village.**

④ 前置詞+先行詞を先行詞の名詞に応じて、副詞へ変換する。

☞ Our uncle was born **there.** [= in it]

⑤ その副詞をそれぞれの関係副詞形（形）に変換。

☞ Our uncle was born **where.** [= in which]

● この問題では **where**以外に**in which** も正しいが、**in that**は×

例題7 空所に入る最も適当なものを①～④から一つ選びなさい。

Soon we came to a hill at the foot () stood a deserted factory.

① in which ② of which ③ which ④ whose

【正答】 2. of which

【訳例】 じきに我々はその麓に工場の廃墟がたっている丘に着いた。

～ **Point in Check** ～

● 関係詞を含む前置詞句の後がV Sになっている。

● 関係詞による2文結合の手順

★ Soon we came to a hill.

+

a deserted factory stood at the foot of a hill.

↓

a deserted factory stood at the foot of it 【代名詞】

↓

a deserted factory stood at the foot of which. 【関係代名詞】

at the foot of which a deserted factory stood. 【前置詞 + 関係代名詞の前置】

at the foot of which stood a deserted factory. 【S + V → V + S の倒置】

Grammatical Order

場所・方向を表す副詞を文頭に出すと、V+Sの倒置になる

例えば、A rabbit jumped out. の out を文頭に出すと、Out jumped a rabbit! となる。

A rabbit jumped out. → Out jumped a rabbit!

● 本来、There is ~ の構文もこのルールがもとになっていると考えられる。つまり、A book is there. 「1冊の本がそこにある」→ There is a book. という倒置の構文がthere is ~の構文のもとなのである。そしてこの形が、何度も使われているうちに、本来あった there の「そこに」の意味はなくなってしまい、V+Sの倒置を起こす働きだけが残ったのが、There is ~の構文と考えられる。この点から考えると、以下の文には2通りの訳が可能だということが分かる。

There is a river running near my house.

→ A river running near my house **is.**

S

V

「私の家の近くを流れている川がある」

→ **A river is running** near my house.

S

V

「1本の川が私の家の近くを流れている」

例題8 空所を埋めるのに、①～④から適当なものを選びなさい。

「私の趣味は切手を集めることです」

My hobby is () stamps.

- ① to collect ② collecting
 ③ どちらも正しい ④ どちらも正しくない

【正答】 ②

～ Point in Check ～

- To不定詞の文法
- To不定詞の中の動詞は「まだ行われていない」のが原則



どうだったあ？できたかなあ？

- 英文自体はSVCの第2文型で、補語におかれる内容を問う問題です。to不定詞と動名詞はどちらも準動詞で名詞をつくることができます。その点ではどちらも補語になることができます。つまり、「合法的には」両方とも正しい英文なのです。ところが、①は×で②が○です。その違いは、to不定詞の名詞用法と動名詞の名詞用法の表す意味、文法的なルールの違いです。

to不定詞と動名詞の意味のルール

- (1) **to do** : do は未だ行われていない内容を示す
 (2) **doing** : do は既に行われた内容、または現在行われている内容を示す

- この意味の違いを理解した上で、比較してみましょう。主語である「趣味 *hobby*」は『以前からやっていて、今でもそれを続けている』からこそ「趣味」です。未だやっていないことを「私の趣味」と言うことはできない。①の *to collect* は「未だやっていない内容」を示すため *to collect stamps* は「未だ切手を集めていない」こととなります。②の *collecting* は「過去に切手を集めていて、今でも集めている」の意味ですから、文脈に合うことになり正解です。では次に、このto不定詞と動名詞の意味的な違いが、他の状況にどのように共通して当てはまるのかを確かめてみましょう。

問題A. 空所を埋めるのに、①～④から適当なものを選びなさい。

「その問題を解くのは簡単だった」

To solve the problem was easy.

- ① To solve ② Solving
③ どちらも正しい ④ どちらも正しくない



同じルールで解けたかなあ？

● この問題も①②は両方「語法的には」正しい。ポイントになるのはセンテンスの時制です。この問題では動詞の**was**によって、センテンス全体の時制が「過去」であることがわかります。主語に**To solve (the problem)** を置くと、「未だ問題を解いていない」ことが表されるため、英文が成立しません。「問題を既に解いた」からこそ、**was easy** 「簡単だった」と言えるのです。そこで正解は②の**Solving**となります。

【正答】 ②

問題B. 空所を埋めるのに、①～④から適当なものを選びなさい。

「A大学の入試に合格するために、私は英語を勉強している」

I'm studying English to pass entrance exams to A University.

- ① to pass ② for passing
③ どちらも正しい ④ どちらも正しくない

● この問題Bは問題A.とは逆で、「合格するために」というのは目的、目標であるため、未だ達成されていない内容を表す①の不定詞 **to pass** が正解。一般に**for doing** は「過去に行われた理由」を表すため、**for doing** を「～するために」の目的の意味で用いることはできません。この理由の**for** は英語長文で頻出です。

【正答】 ①

- apologize [be sorry] for B : Bのことにに関して(という理由で)謝る
- forgive[excuse] A for B : Bのことにに関してAを許す
- blame [criticize] A for B: AをB という理由で非難する
- be famous [noted / infamous / notorious] for A: Aという理由で有名である
- thank [be grateful to / be thankful to / be obliged to] A for B: Bという理由で感謝する

● AとBで確認した内容は「不定詞の**to do**は未だ**do**が行われていない」ことを表し、動名詞**doing**は「過去に**do**が行われたこと、あるいは現在**do**している」ことを表すという共通化できるルールでした。また、理由の前置詞**for**が動名詞**doing**に加わることで、「過去に**do**が行われた理由で」の意味を表すことが共通化できたわけです。前ページのリストは**for doing**の意味が共通する表現を集めたものです。リストにある**forgive**「許す」と同じ意味の**allow**「許す」との区別にも不定詞と動名詞の違いが現れています。次の問題を見てください。



今度はちょっと難しいかも!?

問題C. 空所を埋めるのに、①～④から適当なものを選びなさい。

1. Allow me () alone.

- ① to travel ② for traveling
③ どちらも正しい ④ どちらも正しくない

2. Forgive me () alone.

- ① to travel ② for traveling
③ どちらも正しい ④ どちらも正しくない

【正答】 1. ① 2. ②

● 1.の**allow A to do**と2.の**forgive A for doing**の組み合わせは、語法によって決まっている順序です。**allow**と**forgive**は「許す」という意味は同じですが、後続する**to do**と**for doing**の文法的ルールによって意味内容が異なることが分かります。つまり、**allow**は**to do**が後続することから「これから**do**すること（未だ行っていない**do**をすること）を許す」で、**forgive**は**for doing**が続くことで「過去に**do**したことを許す」の意味だということが**to do**と**doing**の違いによって理解できます。文法のルールが共通化できることのメリットが分かってきたかな？



問題D 空所を埋めるのに、①～④から適当なものを選びなさい。

「明日の会議で議論される問題が2つある」

We have two matters () at the tomorrow meeting.

- ① discussed ② discussing
③ どちらも正しい ④ どちらも正しくない

● *to be discussed* あるいは *which will be discussed* が正しい表現。まず語法の知識によって *discuss* は他動詞で、名詞が後続します。名詞形が続くという語法の順序になっていないため②は×にできます。すると、「受動態」の *Order* にしたがって、①が正解のはず。ところが、①は正解にならないのです。①の *discussed* はセンテンスの中で日本語の「(明日の会議で) 議論される」にあたる内容を、表すことはできないのです。というのは、過去分詞の形容詞用法はこれから先に起こること、つまり「明日の会議で」という未来の内容を表すことができないからです。過去分詞の形容詞用法が表すのは、現在と過去の内容なのです。例えば、*This is a boiled egg*. 「これはゆで卵だ」では *boiled* 「ゆでられた」は現在よりも過去に行われた内容を示しています(そうでなければ卵は生卵です)。同様に *discussed* は「過去または現在に議論された(ている)」ことを表しますから、*at the tomorrow meeting* 「明日の会議で」の未来の内容と一致しません。そこで、「未だ行われていない内容」を表す *to be discussed* あるいは *which will be discussed* が正しい表現となるのです。

【正答】 ④

例題9 次の英文の誤りを指摘し、正しく直しなさい。

「この車は値段が高すぎるから、買うのは諦めなくてはならない」

This car is too expensive. We have to give up buying it.

【正答】 give up buying it. → give up the idea of buying it.

または give up buying it. → give up on buying it.

～ Point in Check ～

● 「まだ行われていない」内容をあきらめる

● まず **give up** 「諦める、やめる」は他動詞ですが、*to* 不定詞 を目的語にとることはできない、動名詞だけを目的語にとる動詞です。動名詞だけを目的語にとる動詞は、頭文字をとってMEGAFEPSと覚えたはずです。そのGが**give up**です。その語法をもとにして、動名詞は「過去に行われた内容や現在行われている内容」を示すという文法ルールを加えて考えます。例えば、*I have decided to give up smoking.* と言えば、「過去にタバコを吸っていたが今やめる決心をした」ことで、動名詞 **smoking** はやはり過去を表しています。問題では、最初から値段が高すぎて車には手がでない、つまり買っていませんので、**buying** とすることはできないのです。では、どうすれば正しい表現にできるのでしょうか？

the idea of buying とすれば正しい表現になります。この問題のように、「未だやっていないこれから先の動作を諦める、やめる」を表現するには、**the idea of ~ing**の表現を使います。**give up** の目的語に**the idea**を置いて、その後**the idea**の内容を**of** 以下で説明する順序をとるのです。こうすれば、諦めたりやめたりするのは、あくまでも**the idea** 「考え」であるため、英文として正しくなるのです。前に「目的」を表すために**for ~ing**は使えないと説明しましたが、これも **for the purpose of ~ing** とすれば正しい表現となり、「目的」を表すことができるのと同じ理屈です。

例題10 (1)~(2)はそれぞれ他動詞 expect / hope の目的語に名詞節のthat that S+Vが置かれている正しい英文ですが、that 説内の willの有無の違いを説明しなさい。

- (1) I expect that it will rain tomrrow.
- (2) I hope that it rains tomorrow.

【正答】

- (1) 明日雨が降るだろうと思う
- (2) 明日雨が降ることを願う。

～ Point in Check ～

- 助動詞のwillが表す内容
- expectを「期待する」と覚えている受験生諸君が多いが、実際はexpectは、単に「予想する」「予期する」「思う」の意味で用いられることが多い。

【英語に「未来形」は存在しない】

- 受験生が時制でつまづくのは、英語には日本語よりもずっと多くの時制があるという誤った考えと、特にwillが未来時制を表わす最も一般的な助動詞であるという思い込みが原因であることが多いのです。ところが、英語には「過去形」や「現在形」と同じような「未来形」という特定の時制は存在しないのです。受験生は助動詞 will が「未来」を表すと考えがちです。以下の英文では will があるから、この文は「未来形」の英文だと考えてしまいます。

- ① He **will be** at home tomorrow.
「彼は明日家に居るだろう」

この英文では will が副詞の tomorrow と共に用いられているために、will は「未来形」の英文を作っていると考えがちなのです。では、次の英文はどうでしょう。

- ② He **will be** at home now.
「彼は今家に居るだろう」

この英文はもちろん正しい英文ですが、will があるから「未来形」とは言えません。副詞のnow によって、これが「現在形」の英文であることは明らかです。この2つの英文を見ても『will を付ければ「未来形」になる』という考えが誤りであることは明らかです。

そもそも、助動詞のwill は「現在形」です。can の過去形は could なのは誰でも知っています。ということは、助動詞canは「現在形」です。同じようにwillの過去形はwould ですから、助動詞will もまた「現在形」なのです。

更に、次の英文はどうでしょう。

- ③ He **may be** at home tomorrow.
「彼は明日家に居るかもしれない」
- ④ He **may be** at home now.
「彼は今家に居るかもしれない」

この③と④の英文もまた正しい英文です。③の英文では副詞の tomorrow があります。すると、will の場合と同様に、may は「未来形」の英文を作っているのでしょうか？「未来」を表すmay なんて学校で習ったことはないでしょうし、辞書を見てもそんなことは書いていません。では、一体どのように理解すればよいのでしょうか？正しい理解のためには、まず「現在形」のお話してから始めなくてはなりません。次の英文を見てください。

- ⑤ He **is** at home now.
「彼は今家に居る」

この英文はどのような内容を表しているのでしょうか？もちろん、「今現在、彼が家に居る」ことは確かですが、これを発言している人（話者）の気持ちから考えた場合、この英文を発言している話者は絶対的な自信を持って「彼は今家に居る」と断言していると言えます。いわば、話者は「彼が家に居る確率は100%だ」と言っているのです。つまり、現在形は「現在の内容を伝える」と同時に、その内容に対して、「話者が全く疑いの気持ちを持っていない」ことを表すのです。この「現在形は全く疑いの気持ちを持たず、100%の自信を持って述べていることを表す」という考え方は以下の英文でも同様です。

- ⑥ The train **leaves** at 8 tonight.
「その汽車は今夜8時に出る」
- ⑦ Water **boils** at a temperature of 100 degrees centigrade.
「水は摂氏100度で沸騰する」
- ⑧ The sun **rises** in the east and **sets** in the west.
「太陽は東から昇り、西に沈む」

【現在形は疑う気持ちがなく、100%の確信を表す】

⑥のような英文内容は「公の定められた予定」、⑦と⑧は「物理的事実・真理」などと参考書には書かれていますが、どのような呼び方をしようと、要は、話者がその内容について全く疑う気持ちを持っておらず、その内容が100%確実であると考えているのです。「数学的事実・真理」と呼ばれる「 $1+1=2$ 」を英文で表した場合も、One plus one is [equals] two. / One and one makes two.のように現在形で表します。⑥では「その汽車は今夜8時に出る」ということに、話者は何の疑いも持っておらず、「8時に出ないかもしれない」などとは思っていないし、⑦や⑧で、「水は摂氏100度で沸騰するかどうか分からない」とか「太陽は東から昇り、西に沈むとは限らない」などと考えている現代人はいないでしょう。「1足す1は2じゃないかもしれない」などと言ったら、周りから変な顔をされるのがオチです。

【助動詞は疑う気持ち、確信が100%ではないことを表す】

では、「全く疑いの気持ちを持たず、100%の自信を持って述べていることを表す」現在形に対して、will やmay は何を表しているのでしょうか？実はwillやmayなどの助動詞は「疑う気持ち」「自信のなさ」「個人的判断」「確率が100%ではないこと」を表しているのです。これを日本語では「推量」「疑念」などと呼ぶ場合もあります。では、先ほどの①～⑤の英文をもう一度見てみましょう。

- ① He **will be** at home tomorrow. 【未来に関する推量】
「彼は明日家に居るだろう
(=ひょっとしたら居ないかもしれない)」
- ② He **will be** at home now. 【現在における推量】
「彼は今家に居るだろう (=ひょっとしたら居ないかもしれない)」

- ③ He **may be** at home tomorrow. 【未来に関する疑い】
「彼は明日家に居るかもしれない (=居ないかもしれない) 」
- ④ He **may be** at home now. 【現在における疑い】
「彼は今家に居るかもしれない (=居ないかもしれない) 」
- ⑤ He **is** at home now. 【現在における確信】
「彼は今家に居る (=居ないかもしれないとは考えてもいない) 」

上記の①と②においてwill の表す意味は全く同じです。③と④のmay も全く同じ意味で用いられています。以上のことから分かるように、willもmayやmightのような助動詞とほぼ同じ用法を持っているのです。通常、疑い (doubt) の度合いは現在よりも未来について高いために、willを使って未来に関する予測をするに過ぎないのです。したがって、willを未来を表わす助動詞と考えて、他のmayやmightと区別する特別な理由は何もないのです。

過去や現在について語る場合と未来について語る場合の大きな違いは、未来は確実性が低いために、助動詞を伴って疑念、可能性などを表わすことが多いということに過ぎません。現在について何の疑いも起こらない場合、現在時制が使われるのは当然ですが、未来の場合でも確実性が現在と同じぐらいに高ければ、現在時制が使われるのです。

もう少し具体例で考えてみましょう。例えば、あなたが誰かに「明日お花見に行きませんか？」と誘われたとして、断る言葉としては次のどちらが適当でしょうか？

「明日は忙しいんだ」

- ⑨ I **am** busy tomorrow.
- ⑩ I **will be** busy tomorrow.

「明日」はこれから先の未来のことだからwillを使った⑩が適当だなんて、もう思いませぬよね？ここでは「お花見に行けない理由」を述べているわけですから、そこに推測や疑念の余地は一切ありません。⑩のようにwillを使うと、「明日は忙しいだろう (=ひょっとしたら忙しくないかも)」という意味になってしまいます。これでは強引な相手なら「えっ、ひょっとしたら来られるかもしれないの？」と食いつかれてしまいます。断固として誘いを断るなら、⑨のように「明日は忙しい (=忙しくない可能性はゼロだ)」と表現しなくてはなりません。

③ 論理的(Logical)Order

● 英語で基本的な単語のOrder（順序）を決定するのは語法と文法です。しかし、語法や文法以外にも英語の語順に影響を与える要素があります。それがLogical Order（論理的順序）です。語法や文法が主としてセンテンス内のOrderを決定するのに対し、Logical Orderはセンテンス内だけでなく、2つ以上のセンテンスやパラグラフ内部の順序、2つ以上のパラグラフ間のOrderに影響を与えます。Logical Orderには次の4つの種類があり、この4つのLogical Orderを理解することがLogical Frameを身につけるための最重要課題です。

4つのLogical Orderの原則

- | | | | |
|---|-----|---|--------------|
| ① | 旧情報 | ⇒ | 新情報のOrderの原則 |
| ② | 全体 | ⇒ | 部分のOrderの原則 |
| ③ | 抽象 | ⇒ | 具体のOrderの原則 |
| ④ | 結果 | ⇒ | 原因のOrderの原則 |

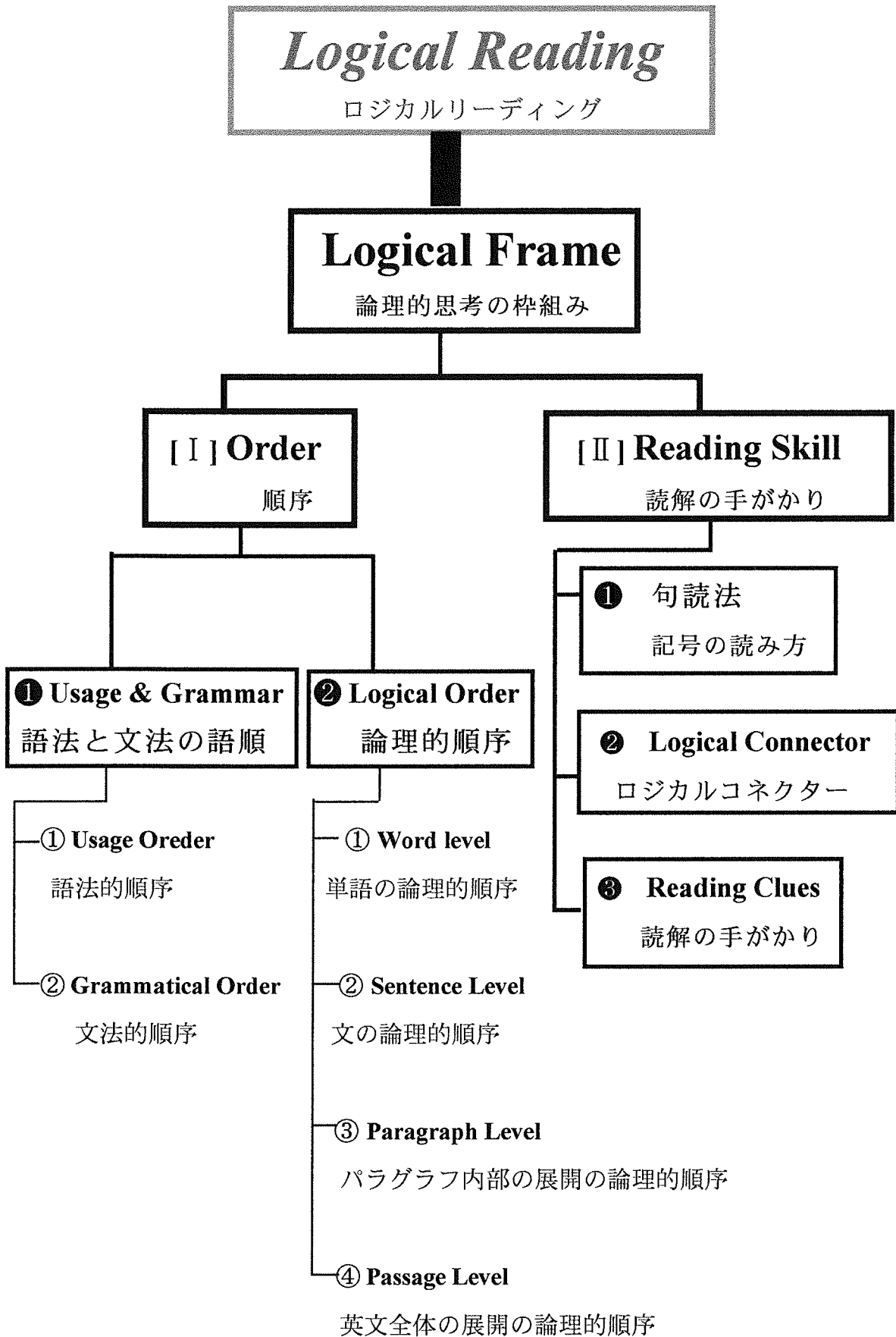
● この4つのLogical Orderの原則は、英語の中の様々な単位の中に現れます。ここではその単位をLevelレベルと呼びます。そしてLogical Orderには4つの出現Levelレベルがあります。

Logical Orderの出現するレベル

- | | | |
|---|------------------------|---------------------|
| ① | Word Level | 1つの英文中での単語の関係、順序 |
| ② | Sentence Level | 2つ以上の英文の関係、順序 |
| ③ | Paragraph Level | 1つのパラグラフ内での英文の関係、順序 |
| ④ | Passage Level | パラグラフとパラグラフの関係、順序 |

Youtube

シマムラの Standard 英語を是非参考にしてください



① 旧情報 ⇄ 新情報のOrderの原則

～ Word Level ～

例題11 次の①～③中で最も自然な英文を選びなさい。

- ① A book is on the desk.
- ② There is a book on the desk.
- ③ There is the book on the desk.

～ Point in Check ～ 旧情報 ⇄ 新情報のOrderの原則

【正答】①では新しい情報であることを示す不定冠詞のAが付いているA bookがいきなりきているために、英語として非常に唐突で不自然な感じを与えます。英語のLogical Orderに沿っていないからです。旧情報を表す定冠詞のtheを付けて、The book is on the table. とすれば正しい表現になります。

②は英語らしい自然な表現です。一般にThere is A.の文頭のThereは日本語には訳されませんが、本来、Thereは「そこに」「そこで」「そこへ」などの意味の指示副詞です。つまり、Thereは「そこ」という以前にでてきた、話し手と聞き手が既に知っている旧情報を表します。There is A.は旧情報を表すThereから始まって、新情報を表すa bookが後ろに置かれているOrder語順であるために、自然な表現になっているのです。

③はThereが旧情報を表しているのですが、その後の新情報が置かれるはずのところに、古い情報であることを示す定冠詞のthe が付いているthe bookがきてしまっているため正しい表現ではありません。旧情報→旧情報のOrderは×です。

これは、英作文の出題ポイントの1つで、There is A.「Aがある」を表現する場合、Aに旧情報を表すthe やone's (所有格) の付いた名詞を置くことができないことを知っているかどうかは、よく狙われます。

「私の叔父さんの家は神戸にあった」

There was my uncle's house in Kobe. ×

My uncle's (house) was in Kobe. ○

△ 所有格の後ろのhouse / shop / room などの名詞はしばしば省略される。

例題12 次の①と②の英文の違いを説明しなさい。

① To solve the problem is easy.

② It is easy to solve the problem.

～ Word Level ～

～ Point in Check ～ 旧情報 ⇄ 新情報のOrderの原則

【正答】①よりも②の方が自然な英語です。その理由は、やはり【文末焦点の原則】、旧情報 ⇄ 新情報のOrderの原則にあります。②は形式主語で、主語のItは「それ」とは訳出しませんが、本来はそれまでにでてきた古い情報を表す単語です。形式主語のItは、先ほどの問題3のThereと同様に、より自然な英語のOrder語順、旧情報 ⇄ 新情報のOrderを実現するために用いられているのです。

この旧情報 ⇄ 新情報のOrderは、結局のところ、いきなり新しい情報から始まるという唐突さや不自然さを避ける目的で用いられます。英語だけでなく日本語でも似たことがあります。『っていうかさあ、島村って髪の毛ヤバくない？』と、何の脈絡もなく生徒が言っているのを耳にしたことがあります。これなども同じ理由ではないかと思えます。

【コラム】 - 昔々ある所に・・・ -

昔話では「昔々ある所におじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山に芝刈りに、おばあさんは川に洗濯に・・・」と言いますが、日本語では「が」は英語では a にあたる新情報を、「は」は the に相当し、旧情報を表しています。この「が」と「は」を入れ替えると、不自然な日本語になってしまいます。つまり、英語とは逆で、この場合の日本語では新情報 ⇄ 旧情報のOrderが自然だということになります。

例題13 英文に続くマスキング部分の内容を推測しなさい。
 ～ Sentence Level ～
 It is said that smoking is bad for your health. XXXXXXXXXX

【正答】前文It is said that smoking is bad for your health. 「喫煙は体に悪いと言われている」を否定する内容、つまり逆接の表現とともに『喫煙は体に悪くない』という内容。

～ Point in Check ～ 旧情報 ⇨ 新情報のOrderの原則

● マスキング部分の前文はIt is said that S + V ～. 「(世の中で/一般的に) S + V ～だと言われている」です。この表現のように「誰もが知っている内容」や「一般的に信じられていること」つまり「一般論」を述べた後には、その内容は否定されるのが、評論文・論説文で頻出するOrderです。一般論は誰もが知っている内容ですから、既に知っている内容、旧情報です。そして、その後続くそれを否定する内容が新情報ということになります。旧情報 ⇨ 新情報のOrderです。この展開は、一般論+逆接の表現+一般論の否定のOrderをとるのが普通で、この一連のOrderを『譲歩の表現』と呼びます。つまり、一般論を表す内容を見たら、その逆の内容が続くOrderを推測できるのです。

『譲歩の表現』の Orde

旧情報		新情報
S + V + ~	But etc	S' + V' + ~
一般論	逆接の表現	著者の主張
↓	↓	↓
誰もが知っている内容 一般に信じられている内容	逆接の表現 逆接の表現	斬新な内容 一般論の否定

● この『譲歩の表現』は形式主語のItや文頭のThereと同様、旧情報⇨新情報の**Order**に沿って、話者が自分の主張が唐突にならないようにするために用いられます。まず、誰もが知っている内容を述べて読者を引き込んで置いてから、持論を展開するのです。著者の主張の独自性が強く、斬新であればあるほど、『譲歩の表現』が用いられる可能性が高くなります。この例題14でも、「喫煙が健康に良くない」のは周知の事実です。それに対して著者の主張は「喫煙は健康によい」ですから、あまりに現在の世評とかけ離れています。世の中がそのような状況の中、いきなり「喫煙は健康によい」と述べたのでは、読者の反発を買い、それ以上読んでもらえない恐れがあります。それを避けるためにも『譲歩の表現』が用いられるのです。

否定されるのが一般論の役割

● そもそも全ての文章は、読者に「読まれるために存在する」のです。ありきたりの、誰でも知っている内容では読んでもらえないのです。読んでもらうためには、書かれる文章の内容は「読者が詳しく知らない内容」でなくてはならないのです。このような目的で書かれる文章の中に一般論が登場するとしたら、それは著者の独自の理論を際立たせるためです。「世の中では〇〇とされているが、実はそうではない」、「多くの人たちは□□と考えているが、それは間違いだ」といった展開の流れの中で用いられるのです。つまり、英文にせよ、日本文にせよ、一般論は否定されるために文章中に登場するのです。

逆接の後が著者の主張・テーマ

● 否定されるために文章中に登場するのが一般論の役割ですから、逆に、著者の主張・テーマは一般論を否定した内容です。そこで、著者の主張・テーマは上記のように、「世の中では〇〇とされているが、実はそうではない」の展開の「が」「しかし」の後に述べられることとなります。だから、逆接の後にはテーマが述べられる可能性が高いこととなるのです。逆接の表現を見つけたら、その後ろの内容をチェックすることが大切です。

② 対比・逆接のコネクター

● 2つの対立する内容するや、対比・対照を示す内容を結び付ける表現です。対比・逆接の表現の後におかれる内容のほうが重要で、著者の主張やテーマを表します。

A 逆接の関係

- but 《しかし、けれども》
- however 《しかし、けれども》
- all the same 《それでも、にもかかわらず》
- nevertheless 《それでも、にもかかわらず》
- nonetheless 《それでも、にもかかわらず》
- despite this, despite that 《それでも、にもかかわらず》
- in spite of this, in spite of that 《それでも、にもかかわらず》
- not with standing 《それでも、にもかかわらず》
- (and) yet 《(文頭で用いて)それでも、しかし》
- (but) still 《(文頭で用いて)それでも、しかし》
- even so 《にもかかわらず》

B 対比の関係

- while 《けれども一方では》
- whereas 《けれども一方では》
- at the same time 《(文頭で用いて)けれども一方では》
- on the other hand 《けれども一方では》
- on the contrary 《それどころか、その逆で、けれども一方では》
- contrariwise 《それどころか、その逆で、けれども一方では》
- by contrast, in contrast 《それとは対照的に》
- as opposed to this 《その逆に、それとは反対に》
- conversely 《その逆に、その反対に》
- oppositely 《その逆に、その反対に》
- instead 《そうではなくて、それどころか》
- that being so 《たしかにそれはそうなのだけれども》
- at any rate 《けれどもいずれにしても》
- anyhow 《けれどもいずれにしても》
- anyway 《けれどもいずれにしても》

② 全体 ⇄ 部分のOrderの原則

例題14 次の①と②の英文の違いを説明しなさい。 ～ Word Level ～

- ① He patted my shoulder.
② He patted me on the shoulder

【Point in Check】 全体 ⇄ 部分のOrderの原則

【正答】①の英文は話し言葉、会話表現では許されるが、書き言葉では不自然で、②の英文は全体[抽象]→部分[具体]の順序で、書き言葉として自然な表現になっている。

2つの英文は同じ和訳になるのですが、②は me（全体）→ the shoulder（部分）の展開【全 ⇄ 部】になっており、英語的である。これは書き言葉でしばしば見られる表現で、まず全体を表現して、次に部分を表現するという全体 ⇄ 部分のOrderの原則に合致しています。書き言葉では目の前に人（ここでは私）がいないことから、書き言葉で①のように書くと、全体である「私」と部分である「私の肩」が分離している可能性を含むことになるため不自然なのです。英文法の問題集でもよく見かけるHe caught me by the arm. も同様です。

He caught

me
全体

 by

the arm.
部分

.

この【全体⇄部分のOrderの原則】は長文読解で重要なばかりでなく、英作文でも出題され、①のHe patted my shoulder.は減点の可能性あります。頻出するのは以下のような動詞と主な前置詞の組み合わせです。

- (1) AのBを見る：look / stare A in B
- (2) AのBをつかむ、引っ張る：catch / take / seize / pull A by B
- (3) AのBをたたく：hit / strike / pat / stroke A on B

③ 区 分 を 示 す コネクター

● 順序立てて論理を展開するときや、具体例を列挙していくときに用いる表現です。

A 順序・順列の関係

- firstly, … secondly, … thirdly, … finally, …
- 《第1に、… 第2に、… 第3に、… 最後に、…》
- in the first place, … in the second place, … 《第1に、… 第2に、…》
- at first 《まず第1に》
- first of all 《まず第1に》
- above all (things) 《なによりもまず第1に》
- to begin with 《まず第1に》
- to start with 《まず第1に》
- for a start 《まず第1に》
- in the beginning 《まず第1に》
- for one thing, … for another thing, … 《1つには、… もう1つには、…》
- next 《次に》
- then 《それから》
- another thing is … 《もう1つは…》
- last(ly) 《最後に》
- last of all 《最後に》

B 並列関係

- also 《さらに、そのうえ》
- further 《さらに、そのうえ》
- furthermore 《さらに、そのうえ》
- moreover 《さらに、そのうえ》
- what is more 《さらに、そのうえ》
- in addition 《さらに、そのうえ》
- on top of that 《そのうえ》
- besides 《おまけに、そのうえ》

- (to) add to that 《さらに、そのうえ》
- similarly 《同じように》
- equally 《同じように》
- likewise 《同じように》
- in the same way 《同じように》
- correspondingly 《同じように》
- as well as that 《それと同じように》
- by the same token, by this token 《それと同じように、同じ理由で》

④ 話題転換のコネクター

● それまでに述べていた話題をやめて、新しい話題や本論に入るときに用いられる表現です

- now 《(文頭で用いて)さて、ところで》
- well 《(文頭で用いて)さて、ところで》
- by the way 《(文頭で用いて)さて、ところで》
- incidentally 《(文頭で用いて)さて、ところで》

③ 抽象 ⇄ 具体の Order の原則

例題15 次の英文を読み、その後の空白部分の内容を予想しなさい。
 ～Sentence Level～

① I like fruit. Particularly, _____

【Point in Check】 抽象 ⇄ 具体の Order の原則

【正答】 particularly は具体化を導くロジカルコネクターで、その前後の英文の意味内容は≒である。また、particularly 以外にも主に次のようなものがある。以下のような語句を見つけたら、その前後に≒の関係があると考えることが大切。

⑤ 例示のコネクター

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> for example 《たとえば》 | <input type="checkbox"/> for instance 《たとえば》 |
| <input type="checkbox"/> to give an example 《たとえば》 | <input type="checkbox"/> to take an example 《たとえば》 |
| <input type="checkbox"/> to illustrate 《たとえば》 | <input type="checkbox"/> such as… 《たとえば…》 |
| <input type="checkbox"/> say 《たとえば》 | <input type="checkbox"/> e.g. 《たとえば》 |
| <input type="checkbox"/> including 《…を含めて》 | <input type="checkbox"/> in particular 《とくに、とりわけ》 |
| <input type="checkbox"/> especially 《とくに、とりわけ》 | |

⑥ 明確化のコネクター

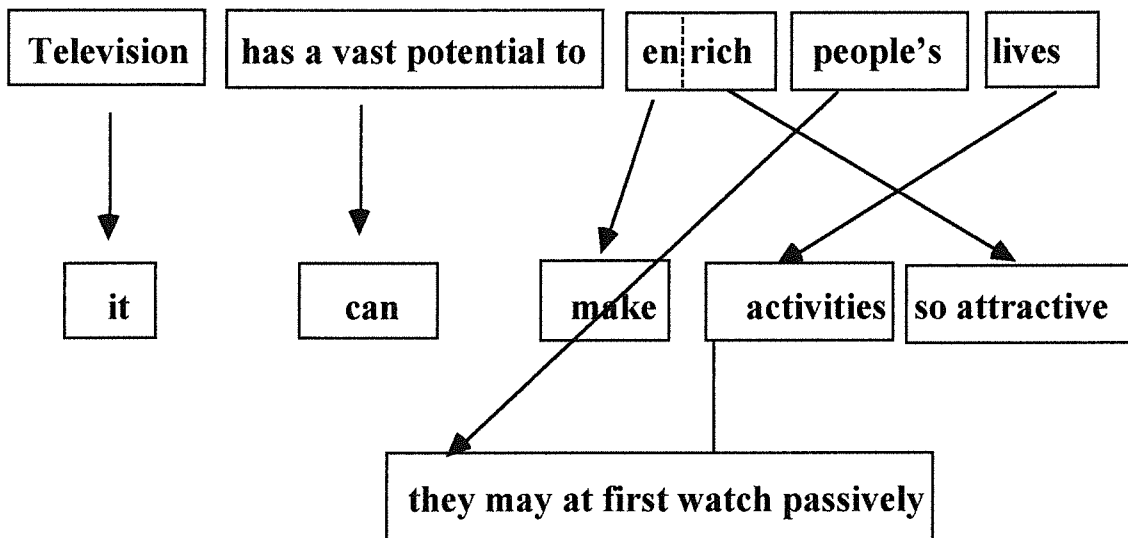
- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> I mean 《つまり、すなわち》 | <input type="checkbox"/> that is (to say) 《つまり、すなわち》 |
| <input type="checkbox"/> in other words 《つまり、すなわち》 | <input type="checkbox"/> i.e. 《つまり、すなわち》 |
| <input type="checkbox"/> namely 《つまり、すなわち》 | <input type="checkbox"/> viz 《つまり、すなわち》 |
| <input type="checkbox"/> (or) rather | |
| 《(まえに述べたことを正しく言い直してもっと正確に言えば)》 | |

【正答】 「(例えば) イチゴが大好き」といった具体的な果物の名前が表現されている英文が予想できる。

- この英文は実際の入試問題であるが、空白部分には次のような英文が続き、日本語訳が求められている。

Television has a vast *potential to enrich people's lives by giving them access to sports and the arts : it can make activities they may at first watch passively so attractive that they are *stimulated into active participation.

- 本番の入試では、itが何を指すのか？ canの意味は？ makeは何文型をとっているのか？ attractiveの意味は？ 色々なことが気になるだろう。代名詞が何を指しているのか分からない、単語の意味に自信がない場合もあるだろう。しかし、：（コロン）によって、≒の内容が述べられていることに気が付けば、代名詞や単語の意味の予想が可能になる。



● コロンによって、ここでは次のような置き換えが行われている。

① Television → it

② has a vast potential to → can

▲ 脚注に「potential：可能性」が与えられており、to不定詞と助動詞の後ろは動詞の原形が来るという共通点から、ここでの can は「可能性」を表す。

③ enrich people's lives = make activities attractive

▲ 「形容詞や形容詞派生の抽象名詞の前後にenを付けると他動詞になる」ことは共通化できる法則で、enrich + O = make + O + richと置き換えることが出来る。つまり、

en = make / lives = activities / rich = attractiveの関係となる。

④ people's = they may～

△ 前文でpeople's は直後のlivesを修飾しているが、名詞を修飾するのは形容詞である。同様にコロン以下では名詞の activitiesを先行詞として、they から始まる関係代名詞節が修飾している（ここでは関係代名詞の目的格が省略されている）が、名詞である activitiesを修飾しているのだから、they may～以下はpeople'sと同じ形容詞。そこで
people ('s) = theyと考えることが出来る。

◎ 入試本番では必ずと言っていいほど分からない単語や意味が理解できない英文が存在する。そのような場合に対処するには、普段から論理的に考え、正しく予想するトレーニングを積んでおかななくてはならない。空白部分を予想するトレーニング法を「マスキング法」と呼ぶ。この「マスキング法」は私が普段の長文読解の授業で行っている方法である。時には、パラグラフ全体を隠し、生徒にその内容を予想させる。「読まないと何が書いてあるか分かりません」という生徒に対し、私は意地悪く尋ねる。「ふう～ん、読まないと分からない？じゃあ、読んだら分かるんだね！知らない単語がいっぱいで、訳せない英文だったらどうするの？」

⑦ 因果関係のコネクター

● 「原因」と「結果」の関係を、明確に述べるときに用いる表現です。多くの場合、結論や筆者の主張が導かれます。

A 結果のコネクター

- so 《そういうわけで、その結果、したがって》
- consequently 《そういうわけで、その結果、したがって》
- hence 《そういうわけで、その結果、したがって》
- therefore 《そういうわけで、その結果、したがって》
- accordingly 《そういうわけで、その結果、したがって》
- thus 《そういうわけで、その結果、したがって》
- in consequence 《そういうわけで、その結果、したがって》
- as a consequence 《そういうわけで、その結果、したがって》
- as a result 《そういうわけで、その結果、したがって》
- this is why..., that is why... 《そういうわけで、その結果、したがって》
- ...,so that... 《そういうわけで、その結果、したがって》
- it follows that... 《そういうわけで、その結果、したがって》
- because of this, because of that 《そういうわけで、その結果、したがって》
- on account of this, on account of that 《そういうわけで、その結果、したがって》

B 結論・要約のコネクター

- in conclusion 《結局、要するに》
- as a conclusion 《結局、要するに》
- conclusively 《結局、要するに》
- to conclude 《結局、要するに》
- concluding (that)... 《結局、要するに》
- to sum up 《結局、要するに》
- summing up 《結局、要するに》
- to summarize 《結局、要するに》
- in a word 《結局、要するに》
- in short 《結局、要するに》
- in brief 《結局、要するに》
- to make a long story short 《結局、要するに》

【参考1】 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Man ⁽¹⁾gauges length and breadth, weight and volume, heat and cold by arbitrary standards of comparison. Early Egyptians measured liquid volume by the mouthful ; medieval Englishmen measured length by the yard — defined as the distance from the tip of their king's nose to the end of his hand. In the 18th century France adopted the metric system of weights and measures.

問1 下線部(1)の語句に最も近いものを、次のア～エの中から1つ選べ。

(1) gauges

ア. perceives

イ. measures

ウ. widens

エ. engages

問2 問1の答えの根拠を簡単に述べなさい。

【Point in Check】

これは最も明快な「抽象→具体」のパターンである。具体化の目安は以下のものが代表的である。

- ① コロン、セミコロン、ダッシュなどの記号や、*for example* などの具体化を導くロジカルコネクター（以下はその他の例）がその直前にある。
- ② 具体的な名詞、例えば、*America / Japan* といった固有名詞が置かれている。または具体的な数字、例えば、*in the middle of 1998* などが見られる。
- ③ 時制が過去形、過去完了形に変化している。

問1 【正解】 イ. measures

問2 【根拠】 第2文以下が、「過去形」であり、「固有名詞」「具体的な数字」が入った英文が続いているので、第1文と第2文以下はほぼ同じ意味を表すと推測できるため。

★ この英文では第1文が抽象的な表現で、第2文以下がその具体表現となっている。「抽象→具体」の予想を元に英文を概観すると、次の点から第2文が具体表現であることが分かる。

①Early **Egyptians** / medieval **Englishmen** が固有名詞である

②**measured** liquid volume/ **measured** length の時制が過去形である

ここで第2文は第1文を「具体的に表現した内容」であることがわかる。

★ 第2文が第1文の具体表現だと分かれば、以下のような推測が可能となる。

1. Man がEarly Egyptians / medieval Englishmen に置き換えられている。
2. gauges はmeasures と同じ意味である。
3. by arbitrary standards of comparison の意味は、by the mouthful / by the yard — defined as the distance from the tip of their king's nose to the end of his hand から予想することができる。

【参考2】 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

①Man gauges length and breadth, weight and volume, heat and cold by arbitrary standards of comparison. ②Early Egyptians measured liquid volume by the mouthful ; medieval Englishmen measured length by the yard — defined as the distance from the tip of their king's nose to the end of his hand. ③In the 18th century France adopted the metric system of weights and measures. ④This established three basic units ; the meter for (a) , liter for (b) and gram for mass or (c) .

問1 空所 (a) ~ (c) に入れるのに最も適当なものを、次のア~オの中からそれぞれ1つずつ選んでください。ただし同じものを2度選んではいけません。

ア. noise イ. volume ウ. weight エ. angle オ. distance
(a) (b) (c)

問2 問1の答えの根拠を簡単に述べなさい。

【正解】 (a) : オ. distance (b) : イ. volume (c) : ウ. weight

【根拠】

- ①と②は【抽象→具体】【全体→部分】で、ほぼ同じ意味。
②と③は並列、【抽象→具体】【全体→部分】でほぼ同じ意味。
- ③と②は「具体的数字18th century」「固有名詞 France」でほぼ同じ意味。
- ③と④は「具体的数字three basic units」でほぼ同じ意味。
- ④と⑤は【全体→部分】【抽象→具体】でほぼ同じ意味。

【参考3】 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Man gauges length and breadth, weight and volume, heat and cold by arbitrary standards of comparison. Early Egyptians measured liquid volume by the mouthful ; medieval Englishmen measured length by the yard — defined as the distance from the tip of their king's nose to the end of his hand. In the 18th century France adopted the metric system of weights and measures. This established three basic units ; the meter for (a) , liter for (b) and gram for mass or (c)

問1 マスキング部分は第1パラグラフの最終文です。どのような内容が書かれているか、予想して、日本語で簡単に書きなさい。

問2 問1の答えの根拠を簡単に述べなさい。

Youtube

シマムラの **Standard** 英語を是非参考にしてください

【正解】 『「〇〇人が」「heat and cold を」「by △で」「measured した」』

【根拠】 第1文でlength and breadth (1)、 weight and volume(2)、 heat and cold(3)の3項目が並列の関係に置かれており、(1)と(2)はそれぞれmedieval Englishmen measured length～が(1)、 Early Egyptians measured liquid volume～(2)で「具体化」されている。そこで「全体から部分」への展開予想に基づいて、空白部分にはheat and cold(3)の具体例が来ることになる。以下は実際の英文。

The French system took hold on the Continent, as did the Centigrade temperature scale devised by the Swedish astronomer Anders Celsius, which set the freezing point of water at 0° and its boiling point at 100° .

【参考4】 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Man gauges length and breadth, weight and volume, heat and cold by arbitrary standards of comparison. Early Egyptians measured liquid volume by the mouthful ; medieval Englishmen measured length by the yard — defined as the distance from the tip of their king's nose to the end of his hand. In the 18th century France adopted the metric system of weights and measures. This established three basic units ; the meter for (a) , liter for (b) and gram for mass or (c) .

England went its own way, with its American colonies tagging along. It continued to rely on the Fahrenheit temperature scale (on which water freezes at 32° , boils at 212°) and on such traditional measurements as the inch, foot, yard and (2) a host of oddities. Americans still employ 85 different weights and measures.

問1 下線部(2)の語句に最も近いものを、ア～エの中から1つ選びなさい。

(2) a host of

ア. rare

イ. few

ウ. many

エ. some

問2 問1の答えの根拠を簡単に述べなさい。

【正解】 ウ. many

【根拠】 具体例から推測する。直後の英文はAmericans still employ 85 different weights and measures.で、固有名詞であるAmericans や85 という「具体的な数字」がその根拠となる。

【第1パラグラフ語句・構文解説】

- 1) gauge : L2. Early Egyptians measured～がヒント
 - ・ gauge～ : ～を正確に計る、評価する、判断する
- 2) breadth : 幅
- 3) volume : 体積
- 4) arbitrary standards of comparison : 任意の比較基準
 - ・ arbitrary : 任意の
- 5) liquid volume : 液体の体積
- 6) by the mouthful : 口一杯の単位で
 - ・ by the～ : 単位のby. ～単位で、～いくらで
- 7) medieval : 中世の
- 8) by the yard : ヤード単位で
- 9) (by) the yard — (which was) defined as the distance from A to B
 - ・ the yard was defined as the distance from A to B
 - ・ define A as B : AはBであると定義する
- 10) adopt～ : ～を採用する、採り入れる
- 11) the metric system : メートル法
- 12) measures : 寸法
- 13) This established three basic units
 - ・ This=France adopted the metric system of weights and measures
 - ・ three basic units : 3つの基本的な単位
 - ・ three basic units : A, B and C.
- 14) the meter for (a) : (a)を表すメートル
- 15) liter for (b) : (b)を表すリットル
- 16) gram for mass or (c) : 量あるいは(c)を表すグラム
 - ・ mass : 量、質量
- 17) The French system took hold on the Continent

そのフランスのメートル法はヨーロッパ大陸にとok holdした

 - ・ the Centigrade temperature scale : 摂氏という温度の尺度
- 18) the Centigrade temperature scale (which was) devised by～
 - ・ devise～ : ～を考案する、発明する、工夫する

19) the Swedish astronomer : スウェーデンの天文学者

20) (the Centigrade temperature scale), which set A at B

- set A at B : AをBに定める、設定する
- the freezing point of water : 水の凍る点 (氷点)
- its boiling point=the boiling point of water : 沸点

【第1パラグラフ全訳】人間は、任意の比較基準に従って、長さ、幅、重さ、質量、熱さと冷たさを測定する。古代エジプト人は口一杯分を単位として液体の体積を測った。中世のイギリス人は国王の鼻の先から手の先までの距離と定められていたヤードの単位で長さを測っていた。18世紀にフランスは重量と寸法を測定するメートル法を採用した。これによって3つの基本的な単位が確立された。すなわち、距離を測るメートル、体積を測るリットル、質量あるいは重量を測るグラムである。このフランスのメートル法は、スウェーデンの天文学者Anders Celsius (アンデルス・セルシウス) によって考案された摂氏という温度の尺度と同様に、ヨーロッパ大陸に定着した。摂氏は水の氷点を0°に、沸点を100°に設定している。

【第2パラグラフ・構文解説】

21) with its American colonies tagging along : 一種の独立分詞構文

⇨and its American colonies tagged along

- tag along : 後についてゆく、従う

22) It continued to rely on the Fahrenheit temperature scale

- It : =England
- the Fahrenheit temperature scale : 華氏という温度の尺度

23) on which water freezes at 32° , boils at 212°

- on which : =on the Fahrenheit temperature scale 華氏の尺度では

24) on such traditional measurement as A, B, C and D

- such A as B : (例えば) BのようなA
- traditional measurements : 従来の測量法

25) a host of oddities

- oddity : 奇妙なもの : ここではなじみのない測量単位のこと

26) employ ~ : ~を使う、採用する

【第2パラグラフ全訳】イギリスは独自の道を進み、イギリスの植民地であるアメリカはそれに従った。イギリスは華氏の温度の尺度(水が32°で凍り、212°で沸騰する)やインチ、フィート、ヤード、多くの見慣れない単位などの伝統的な測定法を使用し続けた。アメリカは今でも85の様々な重さや寸法の単位を使用している。

～追手門学院大学 合格～最短距離～
一般入試対策講座

●冬期：追手門学院大英語 80分×6コマ

12/25(金)～27(日) 12:00～14:50 料金 29,700円

※追手門の英語は、基本的な問題が多いため正解率が高い。
この講座では、合格するための読解のテクニックを中心に、設問への対応力を養成します。

●直前：正誤問題ファイナルチェック 80分×4コマ

1/16(土)・20(水) 13:30～16:20 料金 19,800円

※追手門学院で出題される正誤問題には、5つのパターンがあります。
その5パターンを徹底演習します。

お問合わせは、大学受験予備校フィリオまで

☎06-4305-6375 ((日)・(月)除く 14時～20時)

👉 島村先生のYouTube(追手門対策講座など)もupしていますので、

受験勉強の参考にしてください。



👉 島村先生の「YoutubeのQRコードはこちら。」